

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	公共施設民間譲渡事業(集会施設)(まちづくり推進課)						事業コード	710147				
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	1 公共施設の最適化					
	施策名	1 持続可能なまちづくりに向けた公共施設の再配置				施策コード	911					
事業担当	所属	02030000 地域振興部 まちづくり推進課				所属長	松井 美幸					
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	10 地域交流推進費		会計	01 一般会計	決算附属資料	94・96	頁
計画期間	開始年度	平成27年度	終了予定年度	令和6年度	関連計画名	福知山市公共施設マネジメント計画			R5現在の状況	継続中		
根拠法令等	福知山市地縁団体に対する市有財産(市有地域集会所(まちづくり推進課所管))の無償譲渡に関する要領、福知山市市有地域集会所(まちづくり推進課所管)譲渡事務費補助金交付要領											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	-											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	将来にわたって暮らしやすく、安全で安心なまちづくりを進めるため、公共施設マネジメント計画に基づき、地元合意を得て市有集会所の譲渡を推進することで、中長期的展望に立った効率性に高い行政経営の確立を目的とする。											
対象者	市有集会所(まちづくり推進課所管)を利用している自治会の住民			対象者数	17,400		単位あたりコスト	2.9				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	公益社団法人京都公共嘱託登記土地家屋調査士協会 株式会社環協技研 企業組合一級建築士事務所ひと・まち設計 株式会社日匠設計											
事業概要 (箇条書き)	○市有集会所譲渡に係る機能補修工事及び工事に伴う設計業務の発注 ○市有集会所譲渡に係る土地境界確定及び建物表題登記業務 ○譲渡に至った市有集会所に対し登録免許税相当額を補助金として交付											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)		主な業務内容								
	委託料	6,407		公共嘱託登記(譲渡施設土地建物登記) 市有集会所アスベスト含有状況調査 集会所改修工事に伴う設計業務(3施設)								
	工事請負費	36,774		譲渡施設改修工事(6施設) 下天津公民館敷地嵩上げ工事								
	負担金補助及び交付金	2,776		6施設の譲渡事務費補助金								

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	44,764	37,868	27,614	57,035					
	② 補正予算	△ 3,100	0	0	0					
	③ 繰越予算	△ 10,342	17,485	0	0					
	前年度繰越	7,143	17,485	0						
	次年度繰越	△ 17,485	0							
小計(①~③)	31,322	55,353	27,614	57,035						
予算財源内訳	① 一般財源	7,143	9,275	0	0					
	② 国支出金	0	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0	0					
	⑤ その他特財	24,179	46,078	27,614	57,035					
決算情報	① 流充用額	△ 7,444	△ 3,268							
	② 配当予算	23,878	52,085							
	③ 執行額	22,888	45,957	45,905						
	④ 執行率	95.9%	88.2%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.99 / 0.00	0.67 / 0.00	/	/					
	② 概算人件費	7,920	5,360							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	30,808	51,317								
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	公共施設民間譲渡事業基金繰入(まちづくり推進課)(地域振興基金)		種類	基金繰入金	実績金額	33,710	決算附属資料	40	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	民間譲渡等に至った件数(累計)	件	12 / 43	13 / 43	19 / 43	/ 43	43
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	集会所譲渡に向けた機能補修件数(累計)	件	13 / 43	15 / 43	21 / 43	/ 43	43
	単位あたりコスト		745.8	1525.9	2188.4		
	地元合意に至った件数(累計)	件	32 / 43	35 / 43	37 / 43	37 / 43	43
	単位あたりコスト		303.0	653.9	1242.1		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 6件の施設を改修し、令和3年度中に改修が終了していた施設1件を併せて6件を地元へ譲渡した。1件は、排水路工事のための土地整理がつき次第移譲する。 	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 譲渡後の問題を防ぐため、集会施設の機能補修、土地の境界確定、譲渡に係る認可地縁団体の設立などの調整・交渉を行った。 地元合意に至っていない施設については、自治会役員へ事業の意義などを継続的に説明している。 	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標については、公共施設マネジメント基本計画に基づき、43の集会施設について譲渡あるいは返還後の利活用を進めることとしている。譲渡により、地元で集会施設を管理運営してもらうことで本市の将来的なコスト削減につなげた。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 地域の住民同士のつながりが希薄化する中、地域コミュニティを維持していくために拠点となる集会施設を地元へ譲渡し、地元が管理運営することで各地域に応じた利活用を促し、あわせて、将来にわたって市財政負担の軽減を図ることができた。 譲渡のために自治会から認可地縁団体への移行が必要であり、地域のあり方再考の契機として機能した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 業績指標が最終目標値を大きく下回っている。コロナ禍により約2年間、市職員が地元自治会に頻繁に接触できずにいたことや、自治会での総会等の意思統一する機会が一時的に失われ譲渡の議論を進めることができなかったことなどによる。 機能補修において、地元自治会が要望される改修内容とマネジメントに基づいた補修のすり合わせが難航する。また、市で設計及び工事を行うため移譲までに長い期間を要する。 土地と建物を一体譲渡することが原則のため、土地の境界が不明瞭な場所については、譲渡を行うこと自体が困難である。 災害との関連においては、被災の恐れがある地域の集会施設は、対策等が完了しない限り受け取れないという強い意見等がある。また、避難所としても活用される集会所は今後も行政で維持していくべきだという地域からの強い意見がある。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 地元自治会の合意形成を図るため、説明会などを実施し意見調整を進める。 地元から要望が出ている施設を最優先とし、比較的地域との合意形成の回りやすい単独自治会の使用している施設、補助金や登記等の問題が存在しない施設といった順に優先して進めることで、計画の推進を図る。 各施設は上記課題のような課題を抱えており、マネジメント担当課及び集会施設所管各課と課題を共有し、解決策を検討していく。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<ul style="list-style-type: none"> 譲受体制の整った自治会への施設譲渡を進行しつつ、並行して、譲受は困難であるとの意見について丁寧な説明を続ける。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	集会所等維持管理関連事務事業						事業コード	710202				
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	1 公共施設の最適化					
	施策名	1 持続可能なまちづくりに向けた公共施設の再配置				施策コード	911					
事業担当	所属	02030000 地域振興部 まちづくり推進課				所属長	松井 美幸					
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	10 地域交流推進費		会計	01 一般会計	決算附属資料	96	頁
計画期間	開始年度	平成27年度	終了予定年度	令和6年度	関連計画名	福知山市公共施設マネジメント計画			R5現在の状況	継続中		
根拠法令等	-											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	公共施設民間譲渡事業(集会施設)(まちづくり推進課)											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	地域コミュニティ活動や防災活動の拠点施設である集会所の維持のため、保険等の事務を実施し、施設の適切な管理を行う。											
対象者	市有集会所(まちづくり推進課所管)を利用している自治会の住民				対象者数	17,400		単位あたりコスト	0.1			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	○市有集会所の建物損害保険料の支払いと地元自治会への請求 ○市有集会所の維持管理に係る事務(協議 緊急修繕等)											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)			主な業務内容							
	旅費	3			協議(大阪)旅費							
	需用費	406			集会所アスベスト調査跡修繕料							
	役務費	276			各集会所の保険料一括納付 郵送料(自治会への連絡、保険料請求)							
	使用料及び賃借料	7			協議(大阪)高速道路使用料							

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	817	690	715	657					
	② 補正予算	0	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0						
	次年度繰越	0	0							
小計(①~③)	817	690	715	657						
予算財源内訳	① 一般財源	519	406	426	413					
	② 国支出金	0	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0	0					
	⑤ その他特財	298	284	289	244					
決算情報	① 流充用額	△ 430	3							
	② 配当予算	387	693							
	③ 執行額	371	692							
	④ 執行率	95.9%	99.9%							
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.05 / 0.00	0.13 / 0.00	/	/					
	② 概算人件費	400	1,040							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	771	1,732								
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	電柱類設置貸付収入(まちづくり推進課)	種類	財産貸付収入	実績金額	30	34	決算附属資料	48	頁
		集会所損害保険料		雑入	262					

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
		人災で保険金を請求した件数	件	0 / 0	0 / 0	0 / 0	/ 0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	保険料徴収件数対象施設	件	32 / 32	31 / 31	30 / 30	/ 25	0
	単位あたりコスト		84.5	36.5	23.1		
	件	/	3	/	/		
単位あたりコスト							

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	市有集会施設のため、所有者である市で保険加入や保険料支払い等の機能維持に必要な業務を実施しており、使用者である自治会では代替できない。 ・アスベスト調査跡(破壊検査のため穴が空く)の修繕を行った。 ・令和3年度冬の大雪で集会所の樋が破損した1件分の保険料を受け取った。	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	保険料は最終的に地元自治会が負担しており、市は市有集会所の維持管理を実施するうえの必要最低限な業務経費のみ負担している。 ・アスベスト調査跡の修繕も、パテでの穴埋め等最小限とした。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	施設の維持管理に必要な業務を実施していることで、施設を安全に利用でき、地域のコミュニティ活動等の拠点施設として活用された。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	施設を安全かつ安心して利用していただくにあたって必要な業務を実施したことで、地域コミュニティ活動等の拠点施設としての役割を果たすことができた。公共施設マネジメントの対象施設であるため、公共施設民間譲渡事業の進行に伴い、保険料の支払い・請求を行うべき本事業の対象施設が減少していく。集会施設を市が所有する限り必要な事業であるが、市有集会施設は地元譲渡を進めているため、最終的に本事業の対象施設がなくなる。 【課題】 コロナ禍により議論を進める機会が失われたこと、土地の整理、被災の危険性といった理由から、公共施設民間譲渡事業の進捗が、当初予定(令和6年度完了)より遅くなっており、施設を選択し、優先的かつ計画的に譲渡を進める必要がある。		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 地元自治会との意見調整を進めるうえで、地元から要望が出ている施設を最優先とし、比較的地域との合意形成の図りやすい単独自治会の使用している施設、補助金や登記等の問題が存在しない施設といった順に優先して進めることで、令和6年度末までに可能な限り計画の推進を図る。 各施設は上記課題のような課題を抱えており、マネジメント担当課及び集会施設所管各課と課題を共有し、解決策を検討していく。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	公共施設民間譲渡等の終了に付随して、終了する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	集会施設等整備事業						事業コード	710210				
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	1 公共施設の最適化					
	施策名	1 持続可能なまちづくりに向けた公共施設の再配置				施策コード	911					
事業担当	所属	02030000 地域振興部 まちづくり推進課				所属長	松井 美幸					
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	10 地域交流推進費		会計	01 一般会計	決算附属資料	96	頁
計画期間	開始年度	平成元年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-			R5現在の状況	継続中		
根拠法令等	-											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	-											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	地域活動や防災活動の拠点である集会施設のうち、地元自治会が所有する集会施設等の整備を支援することで、施設の機能性や利便性を向上し、地域コミュニティの更なる活性化と地域価値向上に寄与する。											
対象者	市民	対象者数	76,000		単位あたりコスト	0.3						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	株式会社西日本エスエスシー 8自治会(長田段・下猪崎・前田・下川合・雲原・茅ノ台・奥・三河)											
事業概要 (箇条書き)	○地元で所有・管理する集会所の改修等整備に対して、補助金を8件交付(補助率3分の1、補助上限額1,500万円) ○集会所地下にある公共施設物の付け替え。 ○平成25年度に被災し、道路嵩上げ工事のため解体した下天津集会所の改築設計											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)	主な業務内容									
	役員費	60	郵送料(補助金について自治会との連絡) 電気設備整備 建築確認申請手数料(下天津公民館)									
	委託料	40	集会施設消防点検業務委託									
	使用料及び賃借料	567	ユニットハウスリース、同土地賃借									
	工事請負費	3,424	土師新町東公会堂水路改修									
負担金補助及び交付金	12,863	集会施設(8自治会)の施設整備(エアコン、LED、畳のフローリング化、トイレ洋便器改修、機能改修スロープ等)への補助金										

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	11,769	20,210	56,728	36,338				
	② 補正予算	△ 4,351	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	△ 3,500	3,500	0				
	前年度繰越	0	0	3,500					
	次年度繰越	0	△ 3,500						
小計(①～③)	7,418	16,710	60,228	36,338					
予算財源内訳	① 一般財源	7,418	16,710	3,500	203				
	② 国支出金	0	0	7,639	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	49,089	36,135				
決算情報	① 流充用額	2,044	900						
	② 配当予算	9,462	17,610						
	③ 執行額	9,459	16,953						
	④ 執行率	100.0%	96.3%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.16 / 0.00	0.43 / 0.00	/	/				
	② 概算人件費	1,280	3,440						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	10,739	20,393							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	計画どおり事業を実施できた団体の割合	%	100 / 100	100 / 100	100 / 100	/ 100	100
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	補助件数	件	6 / 6	8 / 8	8 / 8	/ 8	10
	単位あたりコスト				2119.1		
	単位あたりコスト		/	5 /	/	/	集会施設等整備事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	地域コミュニティ活動の充実には拠点施設が必要となる。地元所有の集会所は約250施設あり、市有施設の地元譲渡に伴い対象施設総数は増加している。 ・改修等工事に必要な事業費の3分の1を市で負担した。(おもな改修:トイレ改修、照明改修、フローリング化等) ・大規模広範囲な被災等の緊急で修繕を要する案件について、緊急対応する方針と手順を定めた。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	市側は3分の1を補助することで地域コミュニティの活動を助力している。他自治体でも同様の事業には補助金を支出しており、補助率3分の1は、近隣市と比較して妥当な水準である。 ・地元自治会長及び役員からの改修後の使用感や感想を聞き取りしており、地元負担を軽減しつつ、地元自治会の地域コミュニティ活動に寄与できたと判断している。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	改修等の費用は地元自治会が3分の2を負担するため、工事箇所は慎重に選定にされている。また、事前に改修要望のあった自治会に対して補助を行うため有効性は高い。なお、補助金は施工事業費のみに充当しており、検査時点で工事箇所を正確に判断できる。 外部資源については、コミュニティ助成事業(一般財団法人自治総合センターが運営する事業)の対象となる場合は、そちらの活用を勧めるなどしている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> 改修工事によって利便性が向上し、地域コミュニティの拠点施設としての価値も向上したと判断している。また、現在のところ、要望された自治会分はすべて対応できている。 【課題】 ・本補助は、故障が発生する前の予防を兼ねた整備が対象であり、有効に活用いただくために、自治会内の意見集約等の事前準備が必要である。		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 自治会へ説明の機会を捉え、予防整備型の補助金制度であることを周知するとともに、地域内での話し合いを促す。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	・主に地元所管集会所等への補助事業であり、地元要望にできる限り応え、地域コミュニティの維持を助力する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	共同利用施設維持管理事業						事業コード	730111			
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	1 公共施設の最適化				
	施策名	1 持続可能なまちづくりに向けた公共施設の再配置				施策コード	911				
事業担当	所属	02120000 地域振興部 人権推進室				所属長	大西 浩				
会計情報	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	04 社会福祉施設費	会計	01 一般会計	決算附属資料	136	頁
計画期間	開始年度	昭和42年度	終了予定年度	令和6年度	関連計画名	福知山市人権施策推進計画 福知山市公共施設マネジメント計画		R5現在の状況	継続中		
根拠法令等	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律、障害者差別解消法、ヘイトスピーチ解消法、部落差別解消推進法										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	公共施設除却事業(集会施設)、公共施設民間譲渡事業(集会施設)										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	共同利用施設の維持管理を行う。 公共施設マネジメント実施計画に基づき集会施設の譲渡を行い、公共施設の最適化を進める。										
対象者	市民	対象者数	75,471	単位あたりコスト	0.1						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	(公社)京都公共嘱託登記土地家屋調査士協会、(公社)福知山市シルバー人材センター、夜久野土木企業組合、中田自治会										
事業概要 (箇条書き)	各地域において集会や交流を通じて仲間意識や健康増進を図る場として活用されている集会所や児童施設、老人施設といった共同利用施設の維持管理を行う。また、公共施設マネジメント実施計画に基づき、集会施設の譲渡を行い、公共施設の最適化を進める。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)	主な業務内容								
	使用料及び賃借料	50	土地・建物借上料								
	需用費	718	光熱水費、燃料費、消耗品費								
	役務費	175	ごみ搬入等手数料、保険料								
	委託料	3,065	公共嘱託登記業務、除草業務、立木伐採業務、公園管理業務								
	備品購入費	834	防犯カメラ機器購入								

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	1,728	4,731	1,851	8,757
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0		
小計(①~③)	1,728	4,731	1,851	8,757	
予算財源内訳	① 一般財源	931	3,934	1,054	5,443
	② 国支出金	0	0	0	0
	③ 府支出金	0	0	0	0
	④ 地方債	0	0	0	2,600
	⑤ その他特財	797	797	797	714
決算情報	① 流充用額	0	464		
	② 配当予算	1,728	5,195		
	③ 執行額	1,657	4,842		
	④ 執行率	95.9%	93.2%		
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.55 / 0.00	0.44 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	4,400	3,520		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	6,057	8,362			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	電柱占用料(人権ふれあいセンター等)	民生使用料	64	10
		土地建物貸付収入(人権推進室)	財産貸付収入	578	34
		千原共同利用施設借地料負担金ほか	雑入	35	48
			実績金額		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	集会施設の譲渡申請数	箇所	0 / 2	1 / 2	0 / 2	/ 0	5
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	施設数(維持管理施設)	箇所	36 / 36	34 / 34	33 / 33	/ 36	35
		単位あたりコスト	109.4	48.7	146.7		
	譲渡に向けた施設改修	箇所	0 / 2	1 / 2	0 / 1	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	除草等の共同利用施設の維持管理 長田鳶池の売却に向けた土地の測量、登記 堀口集会所の譲渡に向けた土地建物の測量調査、登記	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	土地建物の測量、登記業務については、用地課が(公社)京都公共嘱託登記土地家屋調査士協会と締結している単価契約に基づき発注した。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	地元協議が完了した施設から順次譲渡を進めている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	管理施設は建設から40年以上が経過する中で、老朽化により修繕等に要する経費も増加しているが、地元自治会等の利用団体と相談をしながら、必要な修繕を行うなど適正な管理を行っている。 また、公共施設マネジメント計画実施計画に基づき、地元の理解を得ながら譲渡等を進めている。 課題として、施設を地元へ譲渡した場合、維持管理経費が地元負担となるため、そのあたりも十分理解を得ながら進めて行く必要がある。		
改善策	地元自治会へ譲渡を行う際には、将来的な費用負担についても、十分に説明を行いながら進めて行く。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	所管施設の適切な管理を継続する。 公共施設なマネジメントに基づき、施設等の譲渡に向けた調査、協議を進める。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	一戸建住宅維持管理事業						事業コード	730112			
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	1 公共施設の最適化				
	施策名	1 持続可能なまちづくりに向けた公共施設の再配置				施策コード	911				
事業担当	所属	02120000 地域振興部 人権推進室				所属長	大西 浩				
会計情報	款	08 土木費	項	05 住宅費	目	01 住宅管理費	会計	01 一般会計	決算附属資料	216	頁
計画期間	開始年度	昭和42年度	終了予定年度	令和14年度	関連計画名	福知山市人権施策推進計画			R5現在の状況	継続中	
根拠法令等	福知山市市営一戸建住宅条例、福知山市市営住宅条例										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	-										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	一戸建住宅は、地域の住環境整備を図るとともに、持家化を促進するために建設したものである。その目的を踏まえてこれらの住宅を適正に管理するとともに譲渡を促進し、公共施設の最適化を進める。										
対象者	一戸建住宅入居者				対象者数	18		単位あたりコスト	161.3		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等											
事業概要 (箇条書き)	一戸建住宅の修繕等の維持管理及び住宅使用料の徴収、督促など、適正な債権管理を行う。										
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)			主な業務内容						
	需用費	335			施設修繕料						
	役務費	70			保険料						

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	580	556	551	10,560				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0						
小計(①~③)	580	556	551	10,560					
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	8				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	9,000				
	⑤ その他特財	580	556	551	1,552				
決算情報	① 流充用額	0	0						
	② 配当予算	580	556						
	③ 執行額	449	404						
	④ 執行率	77.4%	72.7%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.27 / 0.20	0.25 / 0.20	/	/				
	② 概算人件費	2,660	2,500						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	3,109	2,904							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	一戸建住宅使用料(現年度分)		種類	土木使用料	実績金額	401	12	頁
		建物総合損害共済返戻金		雑入		2	決算附属資料	50	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	一戸建住宅払下戸数	戸	0 / 2	1 / 2	1 / 2	/ 2	2
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	一戸建住宅管理戸数	戸	20 / 19	19 / 18	18 / 18	/ 18	18
	単位あたりコスト		11.1	23.6	22.4		
	単位あたりコスト		/	9 /	/	/	一戸建住宅維持管理事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	施設修繕の実施、損害保険の加入、譲渡に向けた説明	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	建物本体及び付属施設の修繕は市で行い、その他の維持管理は入居者が行っている。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	使用料の滞納がある世帯には分納誓約などにより滞納整理を進め、譲渡できる条件整備を図っている	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	住環境整備や持ち家化促進の目的のもと、個人所有地に市が建設した住宅であり、最終的には譲渡することを目的に管理を行っている。使用料の徴収、督促等の債権管理を市で行っている。今後とも滞納のない物件については、譲渡を進め管理戸数を減らしていく必要があることから、入居者に対して説明を行っているが、高齢世帯や生活状況などの問題から譲渡を受けることが難しいケースもある。		
改善策	譲渡を受ける意向を示している入居者もあるため、住宅管理と債権管理を継続して行いながら、譲渡に向けた協議を行っていく。入居されていない物件については、管理戸数を減少させるべく、土地所有者に対し解体に向けた説明を行っていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	管理戸数を減少させるため、入居者への譲渡を進めていくとともに、入居されていない物件の解体を行う。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	人権ふれあいセンター等改修事業						事業コード	730116			
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	1 公共施設の最適化				
	施策名	1 持続可能なまちづくりに向けた公共施設の再配置				施策コード	911				
事業担当	所属	02120000 地域振興部 人権推進室				所属長	大西 浩				
会計情報	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	04 社会福祉施設費	会計	01 一般会計	決算附属資料	136	頁
計画期間	開始年度	昭和42年度	終了予定年度	令和6年度	関連計画名	福知山市人権施策推進計画 福知山市公共施設マネジメント計画		R5現在の状況	継続中		
根拠法令等	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律、障害者差別解消法、ヘイトスピーチ解消法、部落差別解消推進法										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国庫補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	-										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	施設の適正な維持管理を行い、また長寿命化を図るとともに利用者の安心安全な利用を図るため施設の改修を行う。										
対象者	市民				対象者数	75,471		単位あたりコスト	0.1		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	有限会社大谷設備										
事業概要 (箇条書き)	人権ふれあいセンター南佳屋野会館トイレ排水管改修工事										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)		主な業務内容							
	委託料(繰越分)	2,805		人権ふれあいセンター下六人部会館耐震診断業務一式							
	工事請負費	3,740		人権ふれあいセンター南佳屋野会館汚水配管改修工事							

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	8,695	4,500	16,100	58,432					
	② 補正予算	0	0	0	0					
	③ 繰越予算	△ 2,838	2,838	0	0					
	前年度繰越	0	2,838	0						
	次年度繰越	△ 2,838	0							
小計(①~③)	5,857	7,338	16,100	58,432						
予算財源内訳	① 一般財源	△ 143	3,338	0	2					
	② 国支出金	0	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0	0					
	④ 地方債	6,000	4,000	11,500	58,430					
	⑤ その他特財	0	0	4,600	0					
決算情報	① 流充用額	△ 267	0							
	② 配当予算	5,590	7,338							
	③ 執行額	4,010	6,545							
	④ 執行率	71.7%	89.2%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.38 / 0.00	0.26 / 0.00	/	/					
	② 概算人件費	3,040	2,080							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	7,050	8,625								
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	人権ふれあいセンター等改修事業(緊急防災・減災)		種類	民生債	実績金額	3,700	決算附属資料	52	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	会館利用者数	人	17428 / 25000	14709 / 25000	20738 / 25000	/ 25000	25000
教育集会所利用者数	人	27592 / 35000	22751 / 35000	22470 / 35000	/ 35000	35000	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	改修工事施工数	館	4 / 1	0 / 4	2 / 1	/ 1	1
	単位あたりコスト		342.8		3272.5		
	単位あたりコスト		/	11 /	/		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	利用者に安心して施設を利用していただくため、人権ふれあいセンター下六人部会館耐震診断業務、人権ふれあいセンター南佳屋野会館劣化度測定を実施した。また、人権ふれあいセンター南佳屋野会館のトイレ排水管で排水不良による詰まりが発生し、使用を控えていた状況があったため改修工事を実施した。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	工事の実施にあたっては建築住宅課への委任を行い、専門知識を持った職員による設計及び工事期間中の監督を実施したことにより、効率的な進捗管理を行った。また、工事に伴うトイレの使用中止期間についても最小限となるよう作業日程が設定された。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	トイレ排水管の改修を行うことで、トイレの使用を控えるという状況が解消された。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	人権ふれあいセンター等の施設は、人権問題についての理解と認識を深めるとともに、地域交流及び高齢者の生きがい対策事業等にも活用されており、安全で快適な環境を維持していくことで、利用促進につながる。トイレ排水管の改修を行うことにより、利用者がトイレの使用を控える状況が解消されるとともに、利用者へ控えてもらうよう案内することも不要となった。施設が老朽化しているが、大規模な改修は困難でも可能な範囲での改修を実施することにより利便性の向上につながった。		
改善策	施設の老朽化による不具合が発生した場合に、一定の施設改修は必要となる。公共施設マネジメントの実施計画をふまえ、計画的な改修を行っていく必要がある。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針 <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし 	老朽化し、雨漏りや外壁タイルの剥離が発生している人権ふれあいセンター下六人部会館の改修工事を実施する。(令和6年度～7年度予定)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	公共施設除却事業(集会施設)						事業コード	730139			
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	1 公共施設の最適化				
	施策名	1 持続可能なまちづくりに向けた公共施設の再配置					施策コード	911			
事業担当	所属	02120000 地域振興部 人権推進室				所属長	大西 浩				
会計情報	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	04 社会福祉施設費	会計	01 一般会計	決算附属資料	136	頁
計画期間	開始年度	平成27年度	終了予定年度	令和6年度	関連計画名	公共施設マネジメント実施計画			R5現在の状況	廃止/休止	
根拠法令等	-										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	共同利用施設維持管理事業、公共施設民間譲渡事業(集会施設)										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	公共施設マネジメント実施計画に基づき、地元から返還された集会施設の解体を行う。										
対象者	市民	対象者数	75,471	単位あたりコスト	0.1						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	株式会社西部建設										
事業概要 (箇条書き)	地元自治会より返還された菟原下二共同集会所の解体工事を行う。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)	主な業務内容								
	委託料	148	残置物撤去運搬及び処分、解体跡地木杭・ロープ設置業務								
	工事請負費	5,291	菟原下二共同集会所解体工事								

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	0	4,600	0	5,731				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0						
小計(①~③)	0	4,600	0	5,731					
予算財源内訳	① 一般財源	0	4,600	0	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	5,100				
	⑤ その他特財	0	0	0	631				
決算情報	① 流充用額	0	839						
	② 配当予算	0	5,439						
	③ 執行額	0	5,439						
	④ 執行率	0.0%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.00 / 0.00	0.12 / 0.00	/	/				
	② 概算人件費	0	960						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	6,399							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	集会施設の解体	箇所	0 / 0	0 / 0	1 / 1	/ 0	1
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	解体に向けた地元合意	件	0 / 0	1 / 1	0 / 0	/ 0	1
	単位あたりコスト		0.0	0.0			
	単位あたりコスト		/	13 /	/		

公共施設除却事業(集会施設)

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	菟原下二共同集会所については、地元で所有する土地に市で建設していたため、土地を返還するため集会所を解体した。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	工事の実施にあたっては建築住宅課への委任を行い、専門知識を持った職員による設計及び工事期間中の監督を実施したことにより、効率的な進捗管理を行った。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	施設を解体し、土地を地元に戻したことにより、維持管理経費の圧縮が図れた。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	集会施設は市で所有し維持管理をしているが、日常的な管理は地元自治会等で行われている。地元から返還を受けた集会施設については、解体を行うことで維持管理経費の圧縮を行うことができる。また底地について、地元所有の土地は地元に戻還、市所有の土地は資産活用課と調整しつつ売却等の処分を検討する。		
改善策	地元自治会から返還された集会施設について、利活用の計画がないものについては順次解体処分を進めて行く。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	公共施設マネジメント計画にもとづき、千原共同集会所、一宮教育集会所の解体設計、新庄集会所の子ども室の解体工事を実施する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	公共施設民間譲渡事業(集会施設)					事業コード	730141					
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち			政策目標	1 公共施設の最適化						
	施策名	1 持続可能なまちづくりに向けた公共施設の再配置			施策コード	911						
事業担当	所属	02120000 地域振興部 人権推進室			所属長	大西 浩						
会計情報	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	04 社会福祉施設費		会計	01 一般会計	決算附属資料	136	頁
計画期間	開始年度	平成27年度	終了予定年度	令和6年度	関連計画名	公共施設マネジメント実施計画			R5現在の状況	継続中		
根拠法令等	-											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	共同利用施設維持管理事業、公共施設除却事業(集会施設)											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	集会施設の譲渡に向けた改修工事等を行う。 公共施設マネジメント実施計画に基づき、集会施設の民間譲渡を進める。											
対象者	市民	対象者数	75,471	単位あたりコスト	0.1							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	(公社)京都公共嘱託登記土地家屋調査士協会、(株)環協技研											
事業概要 (箇条書き)	公共施設の民間譲渡に向けて、土地建物の測量調査、施設整備を行う。											
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)	主な業務内容									
	委託料	5,974	公共嘱託登記業務、アスベスト含有調査業務									
	使用料及び賃借料	7	高速道路通行料									

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	17,887	4,735	13,660	2,910				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0						
小計(①~③)	17,887	4,735	13,660	2,910					
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	2,910				
	⑤ その他特財	17,887	4,735	13,660	0				
決算情報	① 流充用額	0	1,342						
	② 配当予算	17,887	6,077						
	③ 執行額	11,291	5,982						
	④ 執行率	63.1%	98.4%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.21 / 0.00	0.22 / 0.00	/	/				
	② 概算人件費	1,680	1,760						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	12,971	7,742							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	公共施設民間譲渡事業基金繰入(地域振興基金)	種類	基金繰入金	実績金額	5,974	決算附属資料	40	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	集会施設の譲渡申請	箇所	0 / 2	1 / 2	0 / 2	/ 2	5
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	施設改修	箇所	0 / 2	1 / 2	0 / 1	/ 0	5
	単位あたりコスト		0.0	11291.0			
	単位あたりコスト		/	15 /	/		公共施設民間譲渡事業(集会施設)

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	譲渡予定施設の asbestos 含有調査、土地建物測量、登記業務を実施した。地元譲渡に向けた条件整備として必要な事業である。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	Asbestos 含有調査の実施については同様の業務を行うまちづくり推進課、農政課と一体的に発注した。土地建物の測量、登記業務については、用地課が(公社)京都公共嘱託登記土地家屋調査士協会と締結している単価契約に基づき発注した。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	令和4年度に譲渡を予定していた2集会所について、用地測量、登記業務を進め境界立会等を実施したが、予定されていた以上の範囲の境界確定が必要なことが判明したことや、相続人対象の手続きに時間を要し、年度内に譲渡することができなかった。地元は譲渡を受ける意向であることから、継続して登記業務等を進めて行く。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	集会所は市で所有しているが、日常的な管理は地元自治会等で行われている。譲渡を行うことで、施設の維持管理に係る市の負担が軽減される。譲渡については、自治会運営の今後に関わる問題であり、地元の理解を得ながら進めて行く必要があるが、自治会においても人口減や高齢化により、将来を見通すことが難しい状況となっている。譲渡対象の集会所等で、土地の測量、登記を行う際に、当初予定以上に調査範囲が拡大し作業に時間を要する場合がある。		
改善策	公共施設マネジメント実施計画に基づき公共施設の適正化を進めて行く必要があるため、引き続き、地元自治会等に対し公共施設の譲渡に向けて説明を行い、今後のあり方について議論を行っていく。議論の中で、必要な施設改修についても協議していく。土地の測量、登記作業については、必須作業であり調査してみなければ判明しない部分もあることから、関係課等と連携しながら進めていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	公共施設マネジメント計画にもとづき、一宮教育集会所用地の登記測量調査を実施する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	人権ふれあいセンターさわやか館移転事業						事業コード	810430			
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	1 公共施設の最適化				
	施策名	1 持続可能なまちづくりに向けた公共施設の再配置				施策コード	911				
事業担当	所属	02120000 地域振興部 人権推進室				所属長	大西 浩				
会計情報	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	04 社会福祉施設費	会計	01 一般会計	決算附属資料	138	頁
計画期間	開始年度	令和2年度	終了予定年度	令和4年度	関連計画名	公共施設マネジメント実施計画			R5現在の状況	廃止/休止	
根拠法令等	-										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	-										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	人権を尊重した地域社会の確立に向けて、上夜久野地区内の人権関連施設の集約、整備を進める。										
対象者	市民	対象者数	75,471	単位あたりコスト	0.0						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等											
事業概要 (箇条書き)	旧上夜久野児童館を、人権ふれあいセンターさわやか館として活用するため、必要な改修を実施										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)	主な業務内容								
	工事請負費(繰越分)	2,635	人権ふれあいセンターさわやか館屋外遊技場兼車庫解体工事								

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	57,200	0	0					
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	△ 3,150	3,150	0					
	前年度繰越	0	3,150	0					
	次年度繰越	△ 3,150	0						
小計(①~③)	54,050	3,150	0	0					
予算財源内訳	① 一般財源	△ 650	3,150	0					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	25,500	0	0					
	④ 地方債	29,200	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	446	0						
	② 配当予算	54,496	3,150						
	③ 執行額	54,496	2,635						
	④ 執行率	100.0%	83.7%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.35 / 0.00	0.01 / 0.00	/ /					
	② 概算人件費	2,800	80						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	57,296	2,715							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	公共施設床面積の削減総量	m ²	0 / 455	0 / 455	426 / 455	/	455
改修実施設計進捗率	%	100 / 100	100 / 100	100 / 100	/	100	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	事業進捗率	%	20 / 100	80 / 100	100 / 100	/	100
	単位あたりコスト		-	-	26.4		
	単位あたりコスト		/	17 /	/		

人権ふれあいセンターさわやか館移転事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	令和3年度の繰越工事として、旧人権ふれあいセンターさわか館に隣接していた作業場の解体工事を行った。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	3施設(人権ふれあいセンター、児童館、集会所)の集約化・複合化に伴い実施したものである。令和4年度では、不要となった施設の解体を行い、維持管理経費の圧縮を図った。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	3施設(人権ふれあいセンター、児童館、集会所)を集約するものであり、将来的な建物の更新費、維持管理経費の削減につなげた。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>人権ふれあいセンターさわか館について、地元の理解を得つつ移転を行ったものである。令和4年度については、繰越工事として旧人権ふれあいセンターさわか館に隣接する作業場の解体を行い、施設の削減に取り組んだ。跡地については、他部署での使用も含めて、利活用について検討していく。</p>		
改善策	跡地の利活用の検討を行っていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	ハピネスふくちやま管理運営事業						事業コード	810432				
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	1 公共施設の最適化					
	施策名	1 持続可能なまちづくりに向けた公共施設の再配置				施策コード	911					
事業担当	所属	02120000 地域振興部 人権推進室				所属長	大西 浩					
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	05 財産管理費		会計	01 一般会計	決算附属資料	72	頁
計画期間	開始年度	平成27年度	終了予定年度	令和6年度	関連計画名	福知山市人権施策推進計画、福知山市公共施設マネジメント計画		R5現在の状況	継続中			
根拠法令等	福知山市民ホール条例、福知山市男女共同参画センター条例、福知山市保健福祉センター条例											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	ハピネスふくちやま施設整備事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	人権を尊重した地域社会の確立に向けた拠点施設であるハピネスふくちやまの管理運営に要する経費											
対象者	市民			対象者数	75,471	単位あたりコスト	0.5					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	オリックス・ファシリティーズ(株)											
事業概要 (箇条書き)	ハピネスふくちやまの維持管理											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)		主な業務内容								
	需用費	15,211		光熱水費(ガス、電気、水道)、施設修繕費、消耗品費								
	役務費	232		電話料、郵送料、廃棄物処分、保険料								
	委託料	20,460		施設維持管理業務								
	備品購入費	63		事務用椅子、テレビ購入								

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	32,129	32,716	37,204	37,600					
	② 補正予算	0	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0						
	次年度繰越	0	0							
小計(①~③)	32,129	32,716	37,204	37,600						
予算財源内訳	① 一般財源	30,799	31,676	34,365	35,061					
	② 国支出金	0	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	1,800	1,500					
	⑤ その他特財	1,330	1,040	1,039	1,039					
決算情報	① 流充用額	420	3,254							
	② 配当予算	32,549	35,970							
	③ 執行額	32,540	35,967							
	④ 執行率	100.0%	100.0%							
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.33 / 0.00	0.41 / 0.00	/	/					
	② 概算人件費	2,640	3,280							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	35,180	39,247								
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	自動販売機等電気代(ハピネスふくちやま)	種類	雑入	48	実績金額	46	決算附属資料	10	頁
		市民ホール使用料		総務使用料	820		36			
		自動販売機設置貸付収入(ハピネスふくちやま)		財産貸付収入	284					

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	利用者数	人	38849 / 78000	44793 / 78000	48141 / 78000	/ 78000	78000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	開館日数	日	359 / 359	360 / 360	359 / 359	/ 359	359
	単位あたりコスト		81.4	90.4	100.2		
	単位あたりコスト		/	19 /	/		

ハピネスふくちやま管理運営事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<p>ハビネスふくちやまの維持管理を行った。 ハビネスふくちやまは避難所の指定も受けており、安心安全な環境を整備する必要がある。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<p>施設の維持管理については、委託業者と施設管理契約を締結し行っており、土日祝の職員の勤務時間外の利用や申込に対応した。 市民等が使用される際には、条例にもとづき使用料を徴収している。</p>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<p>ハビネスふくちやまは、貸館として市民に利用いただいた。 また、人権推進室、健康医療課、子ども政策室により、各課の提供する行政サービスを行った。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>ハビネスふくちやまは、子ども政策室、中央保健福祉センター、障害者生活支援センター「青空」、男女共同参画センター等が入っており、市民ホールを含めて多くの市民に利用いただき、有効に活用されている。 会議室を、新型コロナウイルス対策の事務室として使用しており、貸室としての利用を休止していることとあわせて、市民ホールを利用しての大人数による行事も開催が控えられていることから、利用者数と使用料収入は減少している。 今後、会議室の貸し出し再開や市民ホールを使用しての行事等の再開により、利用者数、使用料収入が増加すると見込んでいる。</p>		
改善策	<p>利用者にとって使いやすい施設となるよう、継続して施設の適切な維持管理を行っていく。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>施設の維持管理を行うとともに、避難所としての機能向上ため、床面の避難者誘導ライン、多目的トイレ内の折り畳みベッドの設置を行う。</p>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	ハピネスふくちやま施設整備事業						事業コード	810478			
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	1 公共施設の最適化				
	施策名	1 持続可能なまちづくりに向けた公共施設の再配置				施策コード	911				
事業担当	所属	02120000 地域振興部 人権推進室				所属長	大西 浩				
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	05 財産管理費	会計	01 一般会計	決算附属資料	74	頁
計画期間	開始年度	平成28年度	終了予定年度	令和6年度	関連計画名	福知山市人権施策推進計画、福知山市公共施設マネジメント計画		R5現在の状況	廃止/休止		
根拠法令等	福知山市民ホール条例、福知山市男女共同参画センター条例、福知山市保健福祉センター条例										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	ハピネスふくちやま管理運営事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	人権を尊重した地域社会の確立に向けた拠点施設であるハピネスふくちやまについて、利用者の安心・安全な施設環境を整えるため施設整備を行う。										
対象者	市民	対象者数	75,471	単位あたりコスト	0.6						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	(株)若松電業社、アオイ管材(株)										
事業概要 (箇条書き)	ハピネスふくちやまの施設改修を行い、施設機能の向上を図る。 令和4年度 高圧受電設備更新工事、1階トイレ排水管更新工事										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)	主な業務内容								
	需用費	47	燃料費								
	委託料	297	ストーブ・仮設照明運搬・設営業務								
	工事請負費	39,232	屋外キュービクル更新工事、1階便所ほか排水管改修工事								

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	5,650	62,600	0	0					
	② 補正予算	0	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0	0					
小計(①~③)	5,650	62,600	0	0						
予算財源内訳	① 一般財源	850	0	0	0					
	② 国支出金	0	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0	0					
	④ 地方債	4,800	62,600	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	△ 2,207	△ 23,025							
	② 配当予算	3,443	39,575							
	③ 執行額	3,443	39,575							
	④ 執行率	100.0%	100.0%							
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.40 / 0.00	0.40 / 0.00	/	/					
	② 概算人件費	3,200	3,200							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	6,643	42,775								
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	ハピネスふくちやま施設整備事業(緊急防災・減災)		種類	総務債	実績金額	39,200	決算附属資料	52	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	利用者数	人	38849 / 78000	44793 / 78000	48141 / 78000	/ 78000	78000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	開館日数	日	360 / 359	360 / 360	359 / 359	/ 359	359
	単位あたりコスト		92.5	9.6	110.2		
	工事進捗率	%	0 / 100	21 / 100	100 / 100		
	単位あたりコスト				395.8		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	電気設備、トイレ設備とも利用者が使いたいときに使えるよう常に適切な状態を維持していく必要がある。そのために必要な高圧受電設備の更新工事とトイレ排水管の更新工事を実施した。ハビネスふくちやまは避難所の指定も受けており、安心安全な環境を整備する必要がある。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	工事の実施にあたっては建築住宅課への委任を行い、専門知識を持った職員による設計及び工事期間中の監督を実施したことにより、効率的な進捗管理を行った。工事に伴う停電や、トイレの使用中止期間について最小限となるよう作業日程が設定された。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	本整備を行うことにより、施設として利用者が使いたいときに利用できる施設の状態を確保できた。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	課題として、旧市民会館(昭和47年度建設)を改修した施設であり、改修を行っていない箇所もあることから、継続して必要箇所の改修を行っていく必要がある。会議室を、新型コロナウイルス対策の事務室として使用しており、貸室としての利用を休止していることとあわせて、市民ホールを利用しての大人数による行事も開催が控えられていることから、利用者数と使用料収入は減少している。今後、会議室の貸し出し再開や市民ホールを使用しての行事等の再開により、利用者数、使用料収入が増加すると見込んでいる。		
改善策	管理委託を行っている事業者と連携して施設の状態を把握し、必要な改修を随時行っていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	令和6年度の改修予定なし

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	一般管理費庶務事業					事業コード	720144					
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち			政策目標	1 公共施設の最適化						
	施策名	1 持続可能なまちづくりに向けた公共施設の再配置					施策コード	911				
事業担当	所属	05010000 市民総務部 総務課			所属長	吉田 和彦						
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	01 一般管理費		会計	01 一般会計	決算附属資料	62	頁
計画期間	開始年度	昭和51年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-		R5現在の状況	継続中			
根拠法令等	-											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	-											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	郵便物の受付から発送、総務課管理車両の点検整備及び庁内電話機器の適正な管理を行うことにより、円滑な行政事務の運営を図ることを目的とする。											
対象者	職員	対象者数	1,000		単位あたりコスト	13.5						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	(公社)京都府シルバー人材センター連合会											
事業概要 (箇条書き)	郵便物の受付・発送事務を適正に行った。 事業所ごみ(可燃・不燃等)、また不用品(鉄くず、古紙、新聞紙、シュレッダーごみ等)の運搬作業を適正に行った。 車検整備や法定点検を実施することにより、所管車両(2台)の適正な維持管理を行った。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)	主な業務内容									
	報酬、職員手当等	150	報酬140千円、職員手当9千円									
	需用費、役務費	2,764	燃料費258千円、修繕料362千円、通信運搬費2,022千円、手数料54千円、保険料67千円									
	委託料	1,094	文書庁舎管理室文書における派遣契約1,094千円									
	使用料及び賃借料	169	NHK放送受信料169千円									
公課費	50	重量税50千円										

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	10,572	4,758	4,749	8,487					
	② 補正予算	0	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0						
	次年度繰越	0	0							
小計(①~③)	10,572	4,758	4,749	8,487						
予算財源内訳	① 一般財源	10,526	4,708	4,703	8,441					
	② 国支出金	0	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0	0					
	⑤ その他特財	46	50	46	46					
決算情報	① 流充用額	52	150							
	② 配当予算	10,624	4,908							
	③ 執行額	10,590	4,227							
	④ 執行率	99.7%	86.1%							
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.83 / 2.00	0.52 / 2.05	/	/					
	② 概算人件費	11,640	9,285							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	22,230	13,512								
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	各種団体電話使用料	種類	雑入	実績金額	33	48	決算附属資料	48	頁
		私用電報料		雑入		11				

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
				/	/	/	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	文書等発送通数	通	780847 / 0	931288 / 0	981220 / 0	/	0
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0		
	単位あたりコスト		/	23 /	/	/	一般管理費庶務事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	市の業務として必要な郵便物の受付及び発送、電話機器の維持管理、所管車両の維持管理を適正に行った。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	郵便物等の受付及び発送業務は、一括で行っており効率的である。電話回線・電話交換機器で責任分界点を設けず一元的な管理を適正に行っている。車検整備は、複数業者による見積り取りにより、コスト削減を図った。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	文書発送業務等の拠点として、文書庁舎管理室を設置していることは有効と考える。電話機器を常に確実に使用できるよう維持管理を行うことで、適正な運用が図れている。車検整備及び法定点検は、安全な運行管理を行う上で必要不可欠であり、適正な点検を業者により行うことで安全な運行が図れている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	文書庁舎管理室の文書整理業務を行うことで、必要不可欠な郵便物の発送など確実に実施できている。(定性的評価) 電話設備棟の維持管理や随時の修繕を行うことで、外部との情報の伝達手段として必要不可欠な業務遂行が図れている。(定性的評価) 車両の車検整備及び法定点検を確実にを行うことで、安全な運行管理を実施している。(定性的評価) 市役所の内線電話を管理している電話交換機の耐用年数を超過している。		
改善策	電話交換機設備や総務課所管の車両については、今後の更新を視野に入れて日々の維持管理を実施していく必要がある。 令和元年度から同事業に電話設備等管理事業及び車両管理事業を統合し、効率的な事務執行に努めている。 電話交換機の耐用年数が超過しているので、電話交換機を更新する必要がある。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	電話交換機の耐用年数が超過しているので、電話交換機更新の予算要求をする。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	庁舎管理事業					事業コード	810457				
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	1 公共施設の最適化				
	施策名	1 持続可能なまちづくりに向けた公共施設の再配置				施策コード	911				
事業担当	所属	05010000 市民総務部 総務課				所属長	吉田 和彦				
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	05 財産管理費	会計	01 一般会計	決算附属資料	74	頁
計画期間	開始年度	昭和51年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-			R5現在の状況	継続中	
根拠法令等	-										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	-										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	市民に対するサービスの拠点施設として、市庁舎の機器等の保守管理を行い適正な管理運営を図る。										
対象者	職員、市民	対象者数	73,377	単位あたりコスト	1.9						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	㈱フォールズ、井上㈱、㈱KBS、川重冷熱工業㈱、㈱浄美社、(財)関西電機保安協会北京都営業所、アズビル㈱ビルシステムカンパニー関西支社、姫路ナブコ㈱ほか										
事業概要 (箇条書き)	庁舎内の機械設備の保守点検を業者に委託することにより、適正な管理を図った。 空調機器や付随する機械設備の整備点検を行うことにより、庁舎内における適正な空気環境を図った。 庁舎内の清掃や敷地内の樹木剪定等を専門業者に委託することにより、清潔な庁舎環境保持を図った。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)	主な業務内容								
	旅費、需用費	67,653	旅費6千円、消耗品費等4,086千円、光熱水費52,971千円、修繕料10,590千円								
	役務費	1,286	通信運搬費26千円、手数料1,122千円、保険料138千円								
	委託料	42,057	維持管理業務34,810千円、その他の業務委託7,247千円								
	使用料及び賃借料	263	高速道路5千円、駐車場定期券7千円、その他機器等借上料251千円								
備品購入費	2,748	備品購入費2,748千円									

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	135,081	100,515	159,190	137,411				
	② 補正予算	0	8,428	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0						
小計(①~③)	135,081	108,943	159,190	137,411					
予算財源内訳	① 一般財源	102,175	94,214	126,044	121,729				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	15,700	0	16,300	0				
	⑤ その他特財	17,206	14,729	16,846	15,682				
決算情報	① 流充用額	18,126	5,292						
	② 配当予算	153,207	114,235						
	③ 執行額	153,207	114,007						
	④ 執行率	100.0%	99.8%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.74 / 7.00	0.72 / 7.70	/	/				
	② 概算人件費	23,420	25,010						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	176,627	139,017							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	庁舎一時使用料	種類	総務使用料	実績金額	937	8	決算附属資料	頁
		自動販売機設置貸付収入(市本庁舎)		財産貸付収入	2,985		36		
		市庁舎前駐車場貸付収入		財産貸付収入	10,808		34		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
				/	/	/	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	維持管理委託契約数	件	15 / 15	14 / 15	14 / 14	/ 14	14
	単位あたりコスト		6344.6	10943.4	8143.4		
	単位あたりコスト		/	25 /	/	/	庁舎管理事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	市民サービスの拠点施設である市役所庁舎を、常に適正な維持管理を行う必要があるため、当事業は必要不可欠である。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	機械設備類の老朽化が進み維持管理に係る経費が高んでいる現状ではあるが、機器の適正な運転管理や定期的な点検を行うことにより、軽微な故障のうちに対応して大きな故障とならないようにして、コストダウンを図り、効率的な維持管理を行うよう努めている。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	機械設備類に異常が発生した場合、業者とともに迅速な対応を行うことにより、二次的故障を防ぎ、かつ適正な保守及び運転管理を図っている。そのことが庁舎内における市民の安心・安全につながっている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	市民にとって、身近な住民サービスの拠点施設としての庁舎機能を維持するために、空調機等の機械設備は専門知識を有する業者へ委託する等、安定的に維持管理を図っている。(定性的評価) 庁舎内の機械設備類の老朽化により、年々修繕費用が高んでいる現状から、更新を踏まえた改修が急務となっている。もし当該機器類が故障した際は取替部品もなく、市民サービスの低下となる状況につながる。またEV車等の計画的な導入により充電コンセントも増設していくなかで、庁舎全体の電気容量不足も懸念される。		
改善策	庁舎内の機械・電気設備については、状態等を把握するなかで更新も検討する必要がある。 今後における庁舎内の委託業務については、メリット・デメリットを多方面から考える中で、これまでの単体発注から包括民間委託への移行についても検討していく必要がある。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	新庁舎建設に伴う庁舎の劣化診断や改修計画の策定の予算を要求する。 R6年度から「市役所本庁舎照明LED化推進事業」を組み入れる。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	施設マネジメント事業					事業コード	810542				
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	1 公共施設の最適化				
	施策名	1 持続可能なまちづくりに向けた公共施設の再配置				施策コード	911				
事業担当	所属	08050000 財務部 資産活用課				所属長	芦田 秀樹				
会計情報	款	02 総務費	項	01 総務管理費	目	05 財産管理費	会計	01 一般会計	決算附属資料	76	頁
計画期間	開始年度	平成27年度	終了予定年度	令和6年度	関連計画名	公共施設マネジメント基本方針、基本計画、後期実施計画		R5現在の状況	継続中		
根拠法令等											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	公共施設マネジメントを推進することにより、施設総量の削減に加え、利活用の促進、維持管理コストの縮減と平準化を図る。 また、公共施設の管理運営については、公共施設の運営状況を評価する取り組みを実施することにより、運営方法を見直し、公共施設サービスの向上を図る。										
対象者	公共施設				対象者数	734		単位あたりコスト	36.0		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	株式会社パスコ京都支店										
事業概要 (箇条書き)	・公共施設マネジメント計画に基づき、公共施設の再配置(更新・統合・移譲・廃止)を推進する。 ・適切な公共施設量をめざした公共施設の総量削減に取り組む。 ・存続する施設に対しては、使用年数に応じた計画的な改修、修繕による安全性、機能性の確保を図る。 ・民間事業者による遊休資産の利活用を促進し、地域価値の向上に取り組むとともに、売却代金、貸付料による財源確保を図る。 ・社会的変化に応じたニーズに基づき、集約化、複合化に取り組むとともに、必要に応じて新たな機能の導入を検討する。 ・標準的建築年等に基づき将来の支出をシミュレーションし、財政運営との整合を図る。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)	主な業務内容								
	旅費	90	普通旅費								
	需用費	186	消耗品費、印刷製本費								
	役務費	290	郵送料								
	委託料	4,103	公共施設マネジメント推進支援業務委託								

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	8,286	6,289	10,343	12,281			
	② 補正予算	0	0	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0				
	次年度繰越	0	0					
小計(①～③)	8,286	6,289	10,343	12,281				
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	4,000	3,000	3,000	5,555			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	4,286	3,289	7,343	6,726			
決算情報	① 流充用額	△ 243	△ 1,617					
	② 配当予算	8,043	4,672					
	③ 執行額	8,043	4,668					
	④ 執行率	100.0%	99.9%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	2.86 / 0.00	2.72 / 0.00	/	/			
	② 概算人件費	22,880	21,760					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	30,923	26,428						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	施設マネジメント事業(きょうと地域連携交付金)	種類	総務費府補助金	実績金額	1,325	26	頁
		施設マネジメント事業基金繰入金(公共施設等総合管理基金)		基金繰入金		2,348	42	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	公共施設累積削減面積	m ²	24672 / 49838	28225 / 64166	30680 / 45737	/ 50090	101800
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	公共施設削減面積	m ²	4749 / 4540	3553 / 14328	2455 / 17512	/ 19066	-
	単位あたりコスト		3.4	2.3	1.9		
	単位あたりコスト		/	27 /	/	/	施設マネジメント事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	公共施設に関するコスト削減や市民サービスの向上を目指すものであり、行財政改革の柱のひとつとなる事業である。今後深刻化する人口減少、建物の老朽化、重複する施設機能、厳しい財政状況を踏まえ、計画的な施設経営を行うために公共施設マネジメント基本計画、実施計画、個別施設計画等を策定している。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	市民ニーズや社会ニーズが多様化する中で公共施設の余剰や重複を解消するため、公共施設の再配置(更新・統合・移譲・廃止)を着実に推進する事業である。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	全体的な取組の基本方針と目標を定めると同時に施設機能別の再配置方針および目標を定めており、社会情勢の変化を分析しつづ、定期的に計画の見直しを行う。また、進捗状況については、毎年度報告書を策定しており、令和4年度までに30,680㎡の建物の削減面積、10,124百万円の削減効果が出ている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>公共施設マネジメント基本計画期間10年間の8年目にあたる令和4年度単年度の削減実績は、19施設2,455㎡となっている。基本計画期間全体の取組の進捗としては、令和4年度末時点で151施設、延べ床面積30,680㎡を削減した。計画策定当時、公共施設マネジメント計画の進捗管理における削減計画面積の考え方は、譲渡や除却により公共施設の総量削減を行うものだけを対象として目標設定していたが、「量から質のマネジメントへ」と次の段階に進んでおり、公共施設マネジメントの取組全体としては、マネジメントを進める中で廃止した施設の用途変更や民間貸付といった利活用や存続する施設の長寿命化・集約化・複合化といった取り組みについても進めており、公共施設マネジメントの全体評価としては、廃校の活用や三岳地域、桃映地域などのエリアマネジメントなど一定の成果が出ている。公共施設の削減目標については、引き続き基本計画で設定した10年間で10万㎡の削減をめざして計画を推進する。</p>		
改善策	<p>廃校などの大規模遊休資産の利活用では、地元との合意形成、民間事業者とのマッチング、用地整理等に時間を要しているが、廃校マッチングバスツアーを含むサウンディング型市場調査による民間事業者のニーズ把握など計画的に実施することにより事業化が進みつつある。集舎施設についても早期に用地整理や改修内容を精査し、関係者に対して丁寧な説明を行っており、これらを着実に進めていくことで引き続き計画全体の進捗を図っている。また、施設の総量削減の取組に加え、コスト削減の取組(老朽化対策・長寿命化等)を行うほか、引き続き余剰となった施設については積極的に売却や貸付を行い、財源確保に取り組む必要がある。そして総量削減だけでなく、公共施設マネジメントの取組全体の効果を試算し、公共施設マネジメント事業全体の効果を『見える化』する。公共施設マネジメント事業は、公共施設の総量削減だけでなく、「量から質のマネジメントへ」と次の段階に引き続き取り組みを進めていく。現行の福知山市公共施設マネジメント基本計画が令和6年度末で計画の期限を迎えるため、令和5年度に上記改善点を踏まえた第2期基本計画の策定を進める。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし 	引き続き施設の総量削減等コスト削減の取組に加え、余剰となった施設については積極的に売却や貸付を行い、財源確保に取り組む。また、後期実施計画及び個別施設計画に基づき、存続する施設の長寿命化や大規模遊休資産の利活用など、総量削減だけでなく、「量から質のマネジメントへ」と次の段階の取り組みを進めてきた。延床面積以外の定量的な評価指標を検討し、公共施設マネジメント事業全体の効果を『見える化』するとともに、EBPMの取組を促進する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	老人福祉施設管理事業					事業コード	420227				
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	1 公共施設の最適化				
	施策名	1 持続可能なまちづくりに向けた公共施設の再配置				施策コード	911				
事業担当	所属	15030000 福祉保健部 高齢者福祉課				所属長	小野木 正章				
会計情報	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	03 老人福祉費	会計	01 一般会計	決算附属資料	132	頁
計画期間	開始年度	平成29年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R5現在の状況	継続中	
根拠法令等											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	老人福祉施設を安全快適に利用いただくために維持管理を行う。										
対象者	高齢者	対象者数	23,000	単位あたりコスト	1.6						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	(社福)福知山学園、(社福)清和会みわ、姫路ナブコ(株)										
事業概要 (箇条書き)	・高齢者福祉課所管施設の維持管理に関する事業 ・老人デイサービス及び居住部門である生活支援ハウスの管理運営、施設の維持管理業務 ・地元老人クラブ等高齢者の活動の場(所管施設) ・福知山市高齢者福祉センター、三和町高齢者生活福祉センター、夜久野町老人憩いの家 ほか										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)	主な業務内容								
	委託料	34,419	高齢者生活福祉センター及び高齢者生活福祉センター指定管理料、三和町老人デイサービスセンター自動ドア保守点検ほか								
	需用費	770	施設修繕料、光熱水費								
	役務費	130	廃棄物処理手数料、リサイクル料、保険料								
	備品購入費	84	消火器7本、洗濯機								

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	32,261	32,838	33,359	33,447				
	② 補正予算	0	2,523	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0						
小計(①~③)	32,261	35,361	33,359	33,447					
予算財源内訳	① 一般財源	29,304	33,462	30,695	31,704				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	2,957	1,899	2,664	1,743				
決算情報	① 流充用額	0	97						
	② 配当予算	32,261	35,458						
	③ 執行額	31,964	35,403						
	④ 執行率	99.1%	99.8%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.11 / 0.00	0.08 / 0.00	/	/				
	② 概算人件費	880	640						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	32,844	36,043							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	三和町高齢者生活福祉センター	種類	雑入	247	実績金額	決算附属資料	46	頁
		生活支援ハウス利用者負担金		雑入	1,778			50	
		土地建物貸付収入(高齢者福祉課)		財産貸付収入	713			34	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	機能不全による稼働休止日	日	0 / 0	0 / 0	0 / 0	0 / 0	0
生活支援ハウス稼働率	%	57.7 / 100	55 / 100	35 / 100	100	100	100
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	事故件数	件	0 / 0	0 / 0	0 / 0	0	0
	単位あたりコスト		0.0				
	単位あたりコスト			29 /	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生活環境の確保として、民間だけでは担えないサービスとして必要性が高い。 市の考え方として業務委託になるが民間事業者にも担えようとする 安全快適な施設利用のため必要である 本用途としては市内唯一の施設であるが、利用者が施設の存する地域住民に限定されており、また、近隣に類似機能を持つ公共施設が存在する。 	<input type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 国が示した負担基準であり収入に応じた負担となっている。 長期継続契約の活用を行っている 地元老人会が日常の維持管理は実施している。 施設維持管理経費のみ市負担としている。 	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 在宅生活に不安がある中で介護保険施設以外の居住部門の提供として有効に活用されている。 本用途としては市内唯一の施設であるが、利用者が施設の存する地域住民に限定されており、また、近隣に類似機能を持つ公共施設が存在する。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> センターの生活支援ハウスは、一人暮らし、高齢者世帯等が増加する中で退院後の受け皿としてのニーズが高いが、入居者の長期化と、入居希望者の身体状況により受け入れが厳しいケースもある。20室と限られた部屋数であるが、入居の長期化が見られ、また空室が多い時期があるため、施設のあり方を見直す必要がある。 近隣に類似機能を持つ公共施設が存在するとともに、地元老人会等が限定的に利用しており、地元との合意形成により譲渡を進める必要がある。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設マネジメント実施計画の中で民間活力を視野にいれ民間譲渡を計画している。譲渡条件の整理を行い指定管理者と協議を行う。 地域合意のもとで、地域に施設を譲渡するとともに、複数の地域が開放型自治会館として利用できるよう(地域における貸館機能を有する施設として運用できるよう)、維持・更新等に補助制度も検討し、地域が地域の施設として管理運営を行っていけるよう支援する。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	指定管理者との協議を継続する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	老人福祉施設改修事業						事業コード	420229			
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	1 公共施設の最適化				
	施策名	1 持続可能なまちづくりに向けた公共施設の再配置					施策コード	911			
事業担当	所属	15030000 福祉保健部 高齢者福祉課				所属長	小野木 正章				
会計情報	款	03 民生費	項	01 社会福祉費	目	03 老人福祉費	会計	01 一般会計	決算附属資料	132	頁
計画期間	開始年度	令和4年度	終了予定年度	令和6年度	関連計画名	公共施設マネジメント実施計画			R5現在の状況	継続中	
根拠法令等											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	老人福祉施設管理事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	老人福祉施設を安全快適に御利用いただくために機能修復を目的として改修を行う。										
対象者	高齢者	対象者数	23,000	単位あたりコスト	0.0						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等											
事業概要 (箇条書き)	市所有公共施設の修繕・改修(三和診療所内にある受信機を三和町老人デイサービスセンターに移設し、三和診療所に副受信機を設置)										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)	主な業務内容								
	工事請負費	315	三和町老人デイサービスセンター・三和診療所自動火災報知設備改修工事								

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	0	440	6,000	0				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0						
小計(①～③)	0	440	6,000	0					
予算財源内訳	① 一般財源	0	440	0	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	6,000	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	0						
	② 配当予算	0	440						
	③ 執行額	0	315						
	④ 執行率		71.6%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.00 / 0.00	0.02 / 0.00	/	/				
	② 概算人件費	0	160						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	475							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	機能不全による稼働休止日	日	0 / 0	0 / 0	0 / 0	/ 0	0
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	施設整備に係る改修件数	件	0 / 0	0 / 0	1 / 1	/ 1	1
	単位あたりコスト		0.0		315.0		
	単位あたりコスト		/	31 /	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	三和診療所内にある受信機を三和町老人デイサービスセンターに移設し、三和診療所に副受信機を設置した。施設利用に支障が出ないよう修繕を実施した。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	入札を実施し、コストダウンに努めた。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	三和診療所内に設置されている自動火災報知設備の受信機を常時人がいる場所に設置する必要があると指摘を受け、三和診療所内にある受信機を三和町老人デイサービスセンターに移設し、三和診療所に副受信機を設置した。施設利用者の安心・安全のため、修繕を実施した。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	施設利用者の安全や施設運営のため必要な修繕で、今年度も計画上のものや緊急に対応する必要があるから修繕を行うことができた。		
改善策	公共施設マネジメントの計画と照らしながら老朽化した設備等の更新を計画的に行い、計画上のものや緊急に対応する必要がある施設を引き続き維持管理を行っていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	R6年度は工事を実施しないため休止する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	農村研修集会施設等管理事業						事業コード	220168			
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	1 公共施設の最適化				
	施策名	1 持続可能なまちづくりに向けた公共施設の再配置				施策コード	911				
事業担当	所属	25010000 産業政策部 農政課				所属長	小西 晴之				
会計情報	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	02 農業総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	178	頁
計画期間	開始年度	昭和50年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-			R5現在の状況	継続中	
根拠法令等	-										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	公共施設民間譲渡事業(集会施設)(農政課)										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	持続可能な農村づくり、地域コミュニティを形成する拠点施設とするため、施設の機能維持に必要な修繕や点検を実施し、農村研修集会施設等の適切な管理を行う。										
対象者	農村研修集会施設等の対象地域住民(20施設)				対象者数	18,638		単位あたりコスト	0.5		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	㈱西日本エスエスシー、協和管工(株)、㈱かんとう、渡辺建設(株)、㈱丹新ビルサービス、㈱環協技研、三岳高齢者活動促進施設運営委員会										
事業概要 (箇条書き)	○消防法に基づいた消防設備点検を実施し、点検時に見つかった不良設備の修繕や有効期限切れ消火器の交換を行った。 ○浄化槽法等の関係法令に基づいた浄化槽清掃管理業務を行った。 特財名称：里の駅みたく賃付収入 種類：財産貸付収入 実績金額：164 決算付属資料：34頁 特財名称：農村研修集会施設等損害保険料 種類：雑入 実績金額：116 決算付属資料：50頁 特財名称：施設用地使用料(農政課) 種類：農林使用料 実績金額：21 決算付属資料：10頁 特財名称：建物総合損害共済返戻金(農政課) 種類：雑入 実績金額：7 決算付属資料：50頁										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)		主な業務内容							
	需用費	1,604		農村研修集会施設(上豊、上六、金谷)消防設備修繕、里の駅水道メーター取替修繕 ほか							
	委託料	1,066		農村研修集会施設消防用設備等点検業務、旧北陵グリーンスポーツ施設ロッジ森の家アスベスト調査 ほか							
	役務費	204		建物総合共済基金分担金(令和4年度分)、農村研修集会施設(庵我、菟原、川合)消火器の処分 ほか							
	備品購入費	44		農村研修集会施設(菟原、川合)消火器の購入							

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	5,888		3,781		20,962		8,403		
	② 補正予算	0		0		0		0		
	③ 繰越予算	0		0		0		0		
	前年度繰越	0		0		0		0		
	次年度繰越	0		0		0		0		
小計(①～③)	5,888		3,781		20,962		8,403			
予算財源内訳	① 一般財源	5,051		2,980		4,123		1,191		
	② 国支出金	0		0		0		0		
	③ 府支出金	0		0		0		0		
	④ 地方債	0		0		0		0		
	⑤ その他特財	837		801		16,839		7,212		
決算情報	① 流充用額	86		394						
	② 配当予算	5,974		4,175						
	③ 執行額	4,737		2,919						
	④ 執行率	79.3%		69.9%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.75	/	0.00	0.75	/	0.00	/	/	
	② 概算人件費	6,000		6,000						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	10,737		8,919							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	多目的集会施設上六人部会館貸付収入		種類	財産貸付収入		316		34	頁
		電柱占用料(農政課)			農林使用料		302		10	
		定住促進センター庵我会館貸付収入			財産貸付収入		172		34	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標	
	稼働施設数	施設	29	/	29	28	/	28	20	/	20	15
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2		R3		R4		R5		最終目標	
	修繕等実施施設数	施設	2	/	5	8	/	5	7	/	5	0
	単位あたりコスト		58.2		157.9		417.0					
	単位あたりコスト		/		33		/		/		農村研修集会施設等管理事業	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	○消防設備点検により見つかった不良設備の修繕や浄化槽の清掃管理業務等、施設の機能維持に必要な業務を実施することで、施設管理者として施設の安全性・機能性の確保を図った。	<input type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	○消防設備の修繕や有効期限切れになった消火器の購入を施設ごとに行わず、複数の施設を同時に行い、コストの削減及び事務の効率化を図った。	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	○施設の機能維持に必要な業務を実施することで、施設を安全に利用でき、地域のコミュニティ活動等の拠点施設として利用された。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	○施設の点検や修繕を適宜実施し適切に維持管理することで、地域のコミュニティ活動等の拠点施設としての役割を果たしている。 ○用途廃止になった施設の処分(解体や跡地利用等)について検討を進める必要がある。		
改善策	○公共施設マネジメント計画に基づき、関係課と協力し検討を進めていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	・地域コミュニティを形成する拠点施設とするため、法令に基づき必要な修繕及び改修を行い、適切な維持管理を図る。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	公共施設民間譲渡事業(集会施設)(農政課)						事業コード	220199			
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	1 公共施設の最適化				
	施策名	1 持続可能なまちづくりに向けた公共施設の再配置				施策コード	911				
事業担当	所属	25010000 産業政策部 農政課				所属長	小西 晴之				
会計情報	款	06 農林業費	項	01 農業費	目	02 農業総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	178	頁
計画期間	開始年度	平成27年度	終了予定年度	令和6年度	関連計画名	福知山市公共施設マネジメント計画			R5現在の状況	継続中	
根拠法令等	福知山市財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例、福知山市地縁団体に対する市有財産(市有農村研修集会施設)の無償譲渡に関する要領、福知山市市有農村研修集会施設譲受事業費補助金交付要領										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	農村研修集会施設等管理事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	老朽化に伴う公共施設の更新等に関する将来の市民負担を軽減し、かつ現在の市民サービスを維持するために公共施設の最適な再配置(譲渡等)を行う。										
対象者	農村研修集会施設整備地域住民(28施設)				対象者数	12,286		単位あたりコスト	3.8		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	㈱環協技研、(社)京都公共嘱託登記土地家屋調査士協会、城谷建設㈱、山下住建㈱、㈱いとう、㈱ジオ・ワークス、㈱住建設計										
事業概要 (箇条書き)	次の事業を行ない、農村研修集会施設の地元地縁団体への譲渡を3施設完了した。 (1)用地調査・建物表題登記 7件 (2)アスベスト含有調査 1件 (3)建物改修工事 4施設 (4)譲渡事務費補助 4施設										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)				主な業務内容					
	工事請負費	20,034				譲渡施設の改修費(4棟)					
	委託料	14,913				用地調査業務、建物表題登記、改修工事設計業務、アスベスト含有調査					
	負担金補助及び交付金	642				建物表題登記にかかる登録免許税分の補助					
	需用費	6				提出図面等印刷費					

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	36,931	37,819	22,103	33,641			
	② 補正予算	△ 9,000	0	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0	0			
	次年度繰越	0	0	0	0			
小計(①~③)	27,931	37,819	22,103	33,641				
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0	0			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	0	0	0	0			
	④ 地方債	0	0	0	0			
	⑤ その他特財	27,931	37,819	22,103	33,641			
決算情報	① 流充用額	0	0					
	② 配当予算	27,931	37,819					
	③ 執行額	26,156	35,596					
	④ 執行率	93.6%	94.1%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	1.68 / 0.15	1.23 / 0.55	/	/			
	② 概算人件費	13,815	11,215					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	39,971	46,811						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	公共施設民間譲渡事業基金繰入(農政課)(地域振興基金)	種類	基金繰入金	35,595	決算附属資料	40	頁
		実績金額						

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	譲渡等完了施設数	施設	6 / 28	12 / 28	16 / 28	/ 28	28
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	意向調査完了施設数	施設	22 / 28	22 / 28	24 / 28	/ 28	28
	単位あたりコスト		664.4	1188.9	1483.2		
	単位あたりコスト		/	35 /	/	公共施設民間譲渡事業(集会施設)(農政課)	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<p>農村研修集会施設は、地域活動や防災の拠点として、地域コミュニティの活性化を図ることを目的として設置しているが、今後、集会施設の老朽化が進み、改修や建替えなどの維持費用の増加が見込まれる一方で、少子高齢化など社会情勢の変化により厳しくなる財源のなか、地域に譲渡を行うことで将来にわたって持続的に当初の目的が図られるとともに将来の財政負担の軽減に資する事業として実施した。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<p>農村研修集会施設の地元譲渡にあたっては、その基本的な考え方を示した福知山市公共施設マネジメントガイドラインをもとに統一性をもって進め、用地調査及び市が行う施設の機能補修等を効率的に実施した。</p>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<p>福知山市公共施設マネジメント実施計画に示す再配置方針及び再配置スケジュール等に沿って事業を進め、R4年度には3施設の譲渡が完了したことで、これら施設が将来に渡って地域活動等の拠点として維持されるとともに将来生じる財政負担の軽減が図られた。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>農村研修集会施設のうち、地元譲渡を行った施設は延べ10施設、削減面積1460㎡となり、将来生じる改修及び建替えなどの維持費用の削減ができた。また、集会施設が地元により管理運営されることで現在の公共サービス(集会施設)の維持が図られることになった。譲渡にあたっては地域との合意のもとで譲渡を行うが、合意に至っていない施設が4施設存在する。</p>		
改善策	<p>譲渡にあたっての地元合意については、その支援策などの説明を重ねることで住民の合意形成を促進し、公共施設マネジメント計画期間内での進捗を図る。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>・福知山市公共施設マネジメントに基づき、地元同意が得られている施設の改修工事を行い地元自治会に譲渡する。</p>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	中学校施設改修事業					事業コード	620524				
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	1 公共施設の最適化				
	施策名	1 持続可能なまちづくりに向けた公共施設の再配置				施策コード	911				
事業担当	所属	60010000 教育委員会 教育総務課				所属長	西跡 一欽				
会計情報	款	10 教育費	項	03 中学校費	目	01 学校管理費	会計	01 一般会計	決算附属資料	242	頁
計画期間	開始年度	昭和63年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-			R5現在の状況	継続中	
根拠法令等	建築基準法・消防法										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	小学校施設改修事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	中学校施設の維持管理のため、改修、修繕、更新等を行い、施設及び教育環境の充実と円滑な学校運営を図る。 R4年度、福知山市で管理運営する中学校9校における施設の計画改修。										
対象者	市立中学校 生徒・教職員				対象者数	2,147		単位あたりコスト	21.1		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等											
事業概要 (箇条書き)	・施設修繕 ・川口中学校照明器具改修工事(R3繰4) ・夜久野中学校照明器具改修工事(R3繰4) ・桃映中学校防火戸改修工事										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)		主な業務内容							
	需用費	7,169		中学校9校における施設修繕料							
	工事請負費	33,171		夜久野及び川口中学校体育館照明改修工事、桃映中学校防火戸改修ほか工事							

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	36,120	8,100	4,500	26,518			
	② 補正予算	31,700	24,882	0	0			
	③ 繰越予算	2,800	6,818	24,882	0			
	前年度繰越	34,500	31,700	24,882				
	次年度繰越	△ 31,700	△ 24,882					
小計(①～③)	70,620	39,800	29,382	26,518				
予算財源内訳	① 一般財源	20,187	5,729	4,505	11,581			
	② 国支出金	14,933	10,671	8,377	0			
	③ 府支出金	0	0	0	0			
	④ 地方債	35,500	23,400	16,500	7,900			
	⑤ その他特財	0	0	0	7,037			
決算情報	① 流充用額	△ 470	2,126					
	② 配当予算	70,150	41,926					
	③ 執行額	59,917	40,340					
	④ 執行率	85.4%	96.2%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.97 / 0.00	0.63 / 0.00	/	/			
	② 概算人件費	7,760	5,040					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	67,677	45,380						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	中学校施設改修事業(環境改善交付金・防災機能強化)(繰越明許費分)	種類	教育費国庫補助金	10,500	決算附属資料	22	頁
		中学校施設改修事業(防災・減災・国土強靱化緊急対策)(繰越明許費分)		教育債	20,800		56	
		中学校施設改修事業(公適・長寿命化)		教育債	1,300		56	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	工事完了率	%	100 / 100	100 / 100	100 / 100	/ 100	100
営繕実施完了率	%	0 / 0	100 / 100	100 / 100	/ 100	100	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	対象中学校数	校	4 / 4	4 / 4	3 / 3	/ 2	累計9
	単位あたりコスト		7097.8	14979.3	13446.7		
	営繕実施校数	校	9 / 9	9 / 9	9 / 9	/ 9	累計9 中学校施設改修事業
	単位あたりコスト		0.0	6657.4	4482.2		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	本市中学校施設の約6割が築後30年を経過しており老朽化が進む中、施設の維持管理、更新等を行っていく必要がある。改修内容については例年学校要望や地元要望も聞き取りを行っている。学校からの改修要望は毎年非常に多く、また多種にわたっているが、生徒の安心安全な教育環境の確保のため何を最優先にすべきか、必要性、緊急性、危険性等吟味し、さらに費用対効果を踏まえた判断の上、予算要望し行っているものである。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	設計の段階において、イニシャルコストだけでなくランニングコスト等も鑑み、新製品の使用等その改修内容がコスト削減に繋がるよう考えている(例:教室の蛍光灯の破損の改修はLED化するなど時代のニーズに即したものとしている)また、同種の工事はまとめて発注するなどコスト削減に繋がるよう発注形態についても関係各課協議しており、最速で有効な工法での施工方法を検討して、コスト削減にも取り組んでいる。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	施設整備において学校生活という観点からすると、電気水道、ガス等のライフラインが重要となる。これが不備となると教育活動以前の問題として、学校に行くことさえ妨げられてしまう。また改修に際しては建築基準法、消防法等、により期限の定まった設備の改修、また法令改正に伴うものも含まれる。法令を遵守するのは勿論のこと、有効に活用できるものでなければならない。本改修事業によって、教育環境の維持、改善されることにより、生徒の安心安全な学校生活を過ごす基盤となるものである。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>中学校施設の維持管理のための改修、修繕、更新等を行い、施設及び、教育環境の充実と円滑な学校運営を図ることを目的とし、各学校・地域要望を踏まえ、計画的に予算要望の上、毎年計画、工事の実施に当たっている。</p> <p>生徒の安心安全な学校生活や教職員による教育活動を行う上で、施設整備は必要不可欠なものであり、本事業において不測の事態が生じぬよう、未然に対処すべき改修等を行っているものである。</p> <p>毎年学校から提出される施設改修要望は非常に多く、そのすべてに対応することは難しいことではあるが、緊急性の高いものについては優先して対応している。</p>		
改善策	<p>毎年学校から提出される施設改修要望は非常に数多く、そのすべてに対応することは難しいことではあるが、その緊急度合いや費用対効果を検討し、生徒が安心安全に学校生活を営むことができることを最優先に捉え、要望に応えられるようにしていきたい。</p> <p>また学校施設における不測の事態が生じぬよう計画的に改修工事等を行っているが、老朽化が著しい箇所も多く、また予算にも限りがあるなか、今後の方向性として、令和2年に策定した「福知山市学校施設長寿命化計画」による「予防法全型」の修繕計画と、本事業における「事後保全型」修繕とを並行して取り組むことにより、学校施設の維持管理をより良いものにしていきたいと考えている。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針 <input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	体育館の照明設備改修工事については、令和5年度をもって完了した。 共同学校事務室で取りまとめた各学校からの改修要望の中から、劣化が著しい箇所や危険性が高いと判断できる箇所の改修工事を優先的に実施する。 消防及び放送設備の不具合を2~3年の計画により改修を図る。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	小学校施設改修事業					事業コード	620528					
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	1 公共施設の最適化					
	施策名	1 持続可能なまちづくりに向けた公共施設の再配置				施策コード	911					
事業担当	所属	60010000 教育委員会 教育総務課				所属長	西跡 一欽					
会計情報	款	10 教育費	項	02 小学校費	目	01 学校管理費		会計	01 一般会計	決算附属資料	238・240	頁
計画期間	開始年度	昭和63年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-			R5現在の状況	継続中		
根拠法令等	建築基準法・消防法											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業	中学校施設改修事業											

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	小学校施設の維持管理のため、改修、修繕、更新等を行い、施設及び教育環境の充実と円滑な学校運営を図る。 R4年度、福知山市で管理運営する小学校14校における施設の計画改修。											
対象者	市立小学校 児童・教職員				対象者数	4,309		単位あたりコスト	14.2			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	株式会社GSユアサ環境科学研究所											
事業概要 (箇条書き)	・施設修繕 ・昭和小学校ほか4校アスベスト含有調査業務 ・昭和小学校照明器具改修工事(R3線4) ・修斉小学校照明器具改修工事(R3線4) ・俣明小学校手摺設置工事 ・昭和小学校理科室雑排水設備改修工事											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)		主な業務内容								
	需用費	19,386		小学校14校における施設修繕料								
	委託料	61		昭和小学校ほか4校アスベスト含有調査業務								
	工事請負費	36,572		昭和小学校理科室雑排水設備改修工事、俣明小学校手摺設置工事、修斉及び昭和小学校体育館照明設備改修工事								

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	35,195	28,600	40,400	124,969			
	② 補正予算	26,500	28,292	0	0			
	③ 繰越予算	△ 625	△ 1,792	28,292	0			
	前年度繰越	25,875	26,500	28,292				
	次年度繰越	△ 26,500	△ 28,292					
小計(①～③)	61,070	55,100	68,692	124,969				
予算財源内訳	① 一般財源	28,104	9,279	7,268	11,866			
	② 国支出金	11,266	8,921	9,524	19,634			
	③ 府支出金	0	0	0	0			
	④ 地方債	21,700	36,900	47,000	77,600			
	⑤ その他特財	0	0	4,900	15,869			
決算情報	① 流充用額	15,570	6,308					
	② 配当予算	76,640	61,408					
	③ 執行額	66,429	56,019					
	④ 執行率	86.7%	91.2%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.97 / 0.00	0.63 / 0.00	/	/			
	② 概算人件費	7,760	5,040					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	74,189	61,059						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	小学校施設改修事業(環境改善交付金・防災機能強化)(繰越明許費分)	種類	教育費国庫補助金	7,892	決算附属資料	22	頁
		小学校施設改修事業(防災・減災・国土強靱化緊急対策)(繰越明許費分)		教育債	15,800		56	
		小学校施設改修事業(地域活性化)		教育債	6,500		54	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	工事完成率	%	100 / 100	100 / 100	100 / 100	100 / 100	100
営繕実施完了率	%	100 / 100	100 / 100	100 / 100	100 / 100	100	100
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	工事実施校数	校	7 / 7	6 / 6	6 / 6	3	累計14
	単位あたりコスト		14921.3	11071.5	9336.5		
	営繕実施校数	校	14 / 14	14 / 14	14 / 14	14	累計14 小学校施設改修事業
単位あたりコスト		0.0	4744.9	4001.4			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	本市小学校施設の約6割が築後30年を経過しており、老朽化が進む中、施設の維持管理、更新等を行っていく必要がある。改修内容については例年学校要望や地元要望の聞き取りをおこなっている。学校からの改修要望は毎年非常に多く、また多種にわたっているが、児童の安心安全な教育環境の確保のため、何を最優先にするべきか、必要性、緊急性、危険性等吟味し、さらに費用対効果を踏まえた判断の上、予算要望を行っているものである。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	設計の段階において、イニシャルコストだけではなく、ランニングコスト等も鑑み、新製品の使用等その改修内容がコスト削減に繋がるよう考えている。(例えば教室の蛍光灯破損の改修はLED化するなど時代のニーズに即したものである) また、同種の工事はまとめて発注するなどコスト削減に繋がる発注形態についても関係課と協議しており、最適で、有効な施工方法を採用し、コスト削減を図っている。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	学校活動における施設整備の中では特に、電気・水道・ガス等のライフラインが重要となる。これが不備となると教育活動以前の問題として休校しなければならなくなる。また改修に際しては、建築基準法、消防法等により期限の定まった設備の改修等、法令改正に伴うものも含まれる。法令を遵守するのは勿論のこと、有効に活用できるものでなければならない。本改修事業によって、教育環境の維持、改善されることにより、児童の安心安全な学校生活を過ごす基盤となるものである。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	小学校施設の維持管理のため改修、修繕、更新等を行い、施設及び教育環境の充実と円滑な学校運営を図ることを目的とし、各学校・地域要望を踏まえ、計画的に予算要望の上、毎年計画し工事の実施に当たっている。児童の安心安全な学校生活や教職員による教育活動を行う上で、施設整備は必要不可欠なものであり、本事業において不測の事態が生じぬよう未然に対処すべき改修等を行っているもので効果を上げている。毎年学校からの施設改修要望は非常に多く、そのすべてに対応することは難しいことではあるが、今後も引き続き緊急性の高いものについては優先して対応することが重要である。		
改善策	毎年学校から提出される施設改修要望は非常に多く、そのすべてに対応することは難しいことではあるが、その緊急度合いや費用対効果を検討し、児童が安心安全に学校生活を営むことができることを最優先に捉え、必要性を精査の上、要望に応えられるようにしていきたい。また、学校施設における不測の事態が生じぬよう、計画的に改修工事を行っているが、老朽化が著しい箇所も多く、また予算にも限りがある中、今後の方向性として、R2年に策定した「福知山市学校施設長寿命化計画」による「予防保全型」の修繕計画と、本事業における「事後保全型」修繕とを並行して取り組むことにより、学校施設の維持管理をより良いものにしていきたいと考えている。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針 <input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	体育館の照明設備改修工事については、令和6年度を最終年度と位置付けていることから、4校の改修工事を実施する。また共同学校事務室で取りまとめた各学校からの改修要望の中から、劣化が著しい箇所や危険性が高いと判断できる箇所の改修工事を優先的に実施する。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	小学校施設長寿命化事業						事業コード	621555			
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	1 公共施設の最適化				
	施策名	1 持続可能なまちづくりに向けた公共施設の再配置				施策コード	911				
事業担当	所属	60010000 教育委員会 教育総務課				所属長	西跡 一欽				
会計情報	款	10 教育費	項	02 小学校費	目	01 学校管理費	会計	01 一般会計	決算附属資料	240	頁
計画期間	開始年度	令和2年度	終了予定年度	令和11年度	関連計画名	福知山市学校施設長寿命化計画			R5現在の状況	継続中	
根拠法令等	-										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	-										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	長寿命化計画では、これまでの「事後保全型」から「予防保全型」への転換により、早期段階に予防的な工事を実施する。これにより、突発的な事故を軽減し、改修費用の抑制が図れる。また計画的な工事執行を行うことで、予算の平準化を図り、施設整備にかかるコストを総合的に抑制する。										
対象者	市立小学校 児童・教職員				対象者数	4,309	単位あたりコスト	16.1			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	GSユアサ環境科学研究所										
事業概要 (箇条書き)	長寿命化事業は、「福知山市学校施設長寿命化計画」(令和2年3月作成)に基づき、令和2年度から令和11年度までの10か年を計画年度とし、早急に改善を要するものから順次改修工事を実施するもの。対象小学校は惇明、昭和、大正、雀部、庵我、修斉、成仁の7小学校としている。 令和4年度実施工事は、 ・惇明小学校北校舎高架水槽改修工事 ・雀部小学校外壁改修工事 ・成仁小学校受水槽改修工事										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)			主な業務内容						
	委託料	121			福知山市立昭和小学校ほか4校アスベスト含有調査業務						
	工事請負費	65,302			惇明小学校北校舎高架水槽ほか改修、雀部小学校管理棟外壁改修、成仁小学校受水槽改修						

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)							
予算情報	① 当初予算	7,900	76,700	18,200	162,636						
	② 補正予算	0	△ 11,199	0	0						
	③ 繰越予算	0	0	0	0						
	前年度繰越	0	0	0							
	次年度繰越	0	0								
小計(①~③)	7,900	65,501	18,200	162,636							
予算財源内訳	① 一般財源	800	0	0	2,336						
	② 国支出金	0	0	0	0						
	③ 府支出金	0	0	0	0						
	④ 地方債	7,100	58,700	16,200	144,100						
	⑤ その他特財	0	6,801	2,000	16,200						
決算情報	① 流充用額	1,285	0								
	② 配当予算	9,185	65,501								
	③ 執行額	9,074	65,423								
	④ 執行率	98.8%	99.9%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.33 / 0.00	0.50 / 0.00	/	/						
	② 概算人件費	2,640	4,000								
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	11,714	69,423									
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	小学校施設長寿命化事業(環境改善交付金・防災機能強化)	種類	教育費国庫補助金	実績金額	6,438	22	決算附属資料	42	56	頁
		小学校施設長寿命化事業基金繰入(公共施設等総合管理基金)		基金繰入金	7,884						
		小学校施設長寿命化事業(防災・減災・国土強靱化緊急対策)		教育債	12,700						

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	工事完成率	%	0 / 0	100 / 100	100 / 100	/ 100	100
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	工事完成校数	校	0 / 0	1 / 1	3 / 3	/ 2	累計7
	単位あたりコスト		0.0	9074.0	21807.7		
	単位あたりコスト		/	41 /	/	/	小学校施設長寿命化事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	本市小学校施設の約6割が築後30年を経過しており、老朽化が進む中、施設の維持管理、更新等を行っていく必要がある。これまでの「事後保全型」から「予防保全型」への転換により、早期段階に予防的な工事を実施することにより、突発的な事故を軽減することにより、改修費用の抑制を図った。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	長寿命化計画による「予防保全型」の計画的な工事執行を行うことで、予算の平準化を図り、施設整備にかかるコストを総合的に抑制を図った。また同種の工事はまとめて発注するなどコスト削減に繋がるよう発注形態についても関係課とも協議し、最適で有効な工法での施工方法を検討してコスト削減を図った。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	小学校施設長寿命化における令和4年度実施工事は、老朽化の著しい惺明小学校の高架水槽、省部小学校の外壁、成仁小学校の受水槽をそれぞれ改修し漏水等による緊急修繕を未然に防ぐことができ、施設の改善及び長寿命化が図れた。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	長寿命化計画において、学校施設における不測の事態が生じよう計画的に「予防保全型」の改修工事を行っているが、どの学校も老朽化が著しい箇所も多く、年に数回は緊急改修工事を行わなければならないことが課題である。		
改善策	R2年において「福知山市学校施設長寿命化計画」を策定し、R3年度より長寿命化事業における「予防保全型」の改修工事を計画的に実施することにより、児童が安心安全に学校生活を営むことができることを最優先に考え、継続的に本事業を進めていく。一方、この「予防保全型」の実施だけでは老朽化している学校施設においては対応に限度があるので、緊急度によっては「小学校施設改修事業」での「事後保全型」との両用で工事対応していきたいと考えている。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	福知山市学校施設長寿命化計画において、劣化状況評価でD判定のものの中で屋根・屋上・外壁を最優先に改修工事を実施していく。また年次計画を立て経費の平準化を図っているが、この見直しも毎年行いつつ計画による改修を進めていく。 学校運営に支障をきたしている雨漏りを解消する目的で、屋上防水工事を2校で実施予定。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	中学校施設長寿命化事業						事業コード	621556			
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	1 公共施設の最適化				
	施策名	1 持続可能なまちづくりに向けた公共施設の再配置				施策コード	911				
事業担当	所属	60010000 教育委員会 教育総務課				所属長	西跡 一欽				
会計情報	款	10 教育費	項	03 中学校費	目	01 学校管理費	会計	01 一般会計	決算附属資料	242	頁
計画期間	開始年度	令和2年度	終了予定年度	令和11年度	関連計画名	福知山市学校施設長寿命化計画			R5現在の状況	継続中	
根拠法令等	-										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	-										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	長寿命化計画では、これまでの「事後保全型」から「予防保全型」への転換により、早期段階に予防的な工事を実施する。これにより、突発的な事故を軽減し、改修費用の抑制が図れる。また計画的な工事執行を行うことで、予算の平準化を図り、施設整備にかかるコストを総合的に抑制する。										
対象者	市立中学校 生徒・教職員				対象者数	2,147		単位あたりコスト	3.2		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	㈲立石設計										
事業概要 (箇条書き)	長寿命化事業は、「福知山市学校施設長寿命化計画」(令和2年3月作成)に基づき、令和2年度から令和11年度までの10か年を計画年度とし、早急に改善を要するものから順次改修工事を実施するもの。対象中学校は桃映、南陵、成和、六人部、川口、日新、三和、大江の8中学校としている。令和4年度は、南陵中学校外壁改修工事に伴う設計業務のみ。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)			主な業務内容						
	委託料	2,970			南陵中学校特別教室棟外壁改修工事に伴う設計業務						

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	33,000	4,500	143,200	133,540				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	33,100	0	0	0				
	前年度繰越	33,100	0	0					
	次年度繰越	0	0						
小計(①~③)	66,100	4,500	143,200	133,540					
予算財源内訳	① 一般財源	3,367	0	0	40				
	② 国支出金	11,033	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	51,700	4,000	128,700	118,100				
	⑤ その他特財	0	500	14,500	15,400				
決算情報	① 流用額	122	0						
	② 配当予算	66,222	4,500						
	③ 執行額	56,988	2,970						
	④ 執行率	86.1%	66.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.33 / 0.00	0.50 / 0.00	/	/				
	② 概算人件費	2,640	4,000						
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	59,628	6,970							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	中学校施設長寿命化事業基金繰入(公共施設等総合管理基金)		種類	基金繰入金	実績金額	300	42	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	工事完成率	%	0 / 0	100 / 100	100 / 100	/ 100	100
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	工事完成校数	校	0 / 0	2 / 2	1 / 1	/ 1	累計8
	単位あたりコスト		0.0	28494.0	2970.0		
	単位あたりコスト		/	43 /	/	/	中学校施設長寿命化事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	本市小学校施設の約6割が築後30年を経過しており、老朽化が進む中、施設の維持管理、更新等を行っていく必要がある。これまでの「事後保全型」から「予防保全型」への転換により、早期段階に予防的な工事を実施することにより、突発的な事故を軽減することにより、改修費用の抑制を図った。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	長寿命化計画による「予防保全型」の計画的な工事執行を行うことで、予算の平準化を図り、施設整備にかかるコストを総合的に抑制を図った。また同種の工事はまとめて発注するなどコスト削減に繋がるよう発注形態についても関係課とも協議し、最適で有効な工法での施工方法を検討してコスト削減を図った。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	中学校施設長寿命化における令和4年度実施内容は、長寿命化計画の外壁部でD判定(早急に対応が必要である)のでている、南陵中学校特別教室棟において、外壁改修工事を行うべく、その設計業務の外部発注を行った。この設計業務を基に、次年度以降(R5年度～6年度)の継続費を組み、学校行事と照らし合わせ、計画的な外壁改修工事の実施に向け進めていくことができるようになった。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	長寿命化計画において、学校施設における不測の事態が生じよう計画的に「予防保全型」の改修工事を行っているが、どの学校も老朽化が著しい箇所も多く、年に数回は緊急改修工事を行わなければならないことが課題である。		
改善策	R2年において「福知山市学校施設長寿命化計画」を策定し、R3年度より長寿命化事業における「予防保全型」の改修工事を計画的に実施することにより、生徒が安心安全に学校生活を営むことができることを最優先に考え、継続的に本事業を進めていく。一方、この「予防保全型」の実施だけでは老朽化している学校施設においては限度があるので、緊急度によっては「中学校施設改修事業」での「事後保全型」との両方で工事対応していきたいと考えている。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	福知山市学校施設長寿命化計画において、劣化状況評価でD判定のものの中で屋根・屋上・外壁を最優先に改修工事を実施していく。また年次計画を立て経費の平準化を図っているが、この見直しも毎年行いつつ計画による改修を進めていく。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	旧勤労青少年ホーム施設管理事業						事業コード	610115								
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	1 公共施設の最適化									
	施策名	1 持続可能なまちづくりに向けた公共施設の再配置						施策コード	911							
事業担当	所属	60030000 教育委員会 生涯学習課				所属長	岸見 貴志									
会計情報	款	10 教育費		項	05 社会教育費		目	01 社会教育総務費		会計	01 一般会計		決算附属資料	246		頁
計画期間	開始年度	昭和50年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名					R5現在の状況	継続中			
根拠法令等																
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()															
関連事業																

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	教育施設及び行政施設の一部として適正な維持管理を実施し、公共施設の最適化を図る。(けやき広場、文化・スポーツ振興課文化財保護係の整理事務所)															
対象者	けやき広場等利用者、社会教育団体						対象者数	56		単位あたりコスト	53.1					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()															
委託先・実施主体等	消防設備点検(西日本SSC)、ガス空調機器保守点検(福知山都市ガス)															
事業概要 (簡条書き)	○勤労青少年ホームの設置目的は達成されたとして平成25年度で閉鎖。平成26年度から旧勤労青少年ホーム施設管理事業に移行。施設の適正な維持管理を行う。 ○文化財保護事務、けやき広場(適応指導教室)、社会教育関係(婦人会、保護司会)関連の施設として運営している。文化財保護事務は平成30年度からは本庁で実施(整理作業は継続)。															
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)				主な業務内容										
	需用費	2,008				光熱水費、消耗品費、冷暖房切替弁ハンドル交換修繕、燃料費(周辺除草作業)										
	役務費	12				建物共済、消火器廃棄手数料										
	委託料	227				ガス空調機器保守点検、消防設備点検										
	備品購入費	9				消火器										

III 予算執行状況

区分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	2,125		2,100		2,432		2,488						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
		0		0		0		0						
	小計(①～③)		2,125		2,100		2,432		2,488					
予算財源内訳	① 一般財源	2,125		2,100		2,432		2,488						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		0		0		0						
決算情報	① 流充用額	231		155										
	② 配当予算	2,356		2,255										
	③ 執行額	2,356		2,255										
	④ 執行率	100.0%		100.0%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.11 / 0.00		0.09 / 0.00		/		/						
	② 概算人件費	880		720										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		3,236		2,975										
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称			種類			実績金額			決算附属資料			頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	教育相談延べ件数	件	1070 / 1200	1220 / 1200	1454 / 1200	/ 1200	1200
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	維持管理保守(周辺除草・点検)	回	7 / 7	7 / 7	7 / 7	/ 7	7
	単位あたりコスト		311.6	336.6	322.1		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 現在、通級指導教室や文化・スポーツ振興課、社会教育団体が使用しており、各部署等の移転先が確定するまで、適正な施設管理を行う必要がある。令和4年度は、消防設備点検、ガス空調機器保守点検、施設利用者と市職員による年2回の周辺草刈を実施した。 	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 周辺の草刈については、施設利用者と市職員が共同で行い、コスト削減に努めている。その他の維持管理についても必要最小限の維持管理費で実施した。 	<input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 施設利用者の活動拠点として利用があり、その間施設の使用用途や利用状況に応じた適切な業務・修繕を行った。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○社会教育、学校教育の推進と振興を進める施設の利用目的に沿った管理を適正に行っている。 ○平成25年度に勤労青少年ホームにかかる条例を廃止し、現在、教育施設として管理している。本施設は、設置から49年経過し、老朽化が進み毎年修繕費が増加傾向となっている。 ○けやき広場、文化財保護係、市子連物品、保護司会、婦人会等社会教育団体の移転先の確保が必要である。 		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○本施設の利用者の移転先等の検討を進める。 		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	公共施設マネジメント計画の実施内容に即して、本施設の利用者の移転が確定するまでの施設の維持管理に努める。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

I 事業属性

事業名	教育文化会館管理運営事業						事業コード	630261								
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	1 公共施設の最適化									
	施策名	1 持続可能なまちづくりに向けた公共施設の再配置						施策コード	911							
事業担当	所属	60030000 教育委員会 生涯学習課				所属長	岸見 貴志									
会計情報	款	10 教育費		項	05 社会教育費		目	01 社会教育総務費		会計	01 一般会計		決算附属資料	248・250		頁
計画期間	開始年度	平成元年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名						R5現在の状況	継続中				
根拠法令等																
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()															
関連事業																

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	夜久野町教育文化会館、教育文化会館グラウンド、夜久野町文化コミュニティーセンターを適切な方法で維持管理し、市民に広く利用してもらうことで地域価値向上を図る。															
対象者	教育文化会館利用者				対象者数	75,471		単位あたりコスト	0.0							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()															
委託先・実施主体等	夜久野町グラウンド・ゴルフ協会、有限会社 やくの農業振興団															
事業概要 (簡条書き)	○教育文化関連施設の管理運営 (関連施設の土地は京都府から借用、教育文化会館は京都府から財産使用許可を受けている) ○教育文化会館グラウンドの草刈業務 ○教育文化会館周辺除雪業務															
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目		支出実績(R4)		主な業務内容											
	需用費		538		消耗品費(グラウンドレーキ等)、光熱水費、燃料代、施設修繕											
	役務費		11		建物損害共済分担金											
	委託料		373		教育文化会館グラウンド維持管理業務、除雪業務											
	使用料及び賃借料		866		土地借上料											

III 予算執行状況

区分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,063		1,526		1,652		882					
	② 補正予算	0		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0		0					
	次年度繰越	0		0		0		0					
小計(①～③)		1,063		1,526		1,652		882					
予算財源内訳	① 一般財源	934		1,397		1,523		845					
	② 国支出金	0		0		0		0					
	③ 府支出金	0		0		0		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	129		129		129		37					
決算情報	① 流充用額	294		263									
	② 配当予算	1,357		1,789									
	③ 執行額	1,357		1,789									
	④ 執行率	100.0%		100.0%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.18 / 0.00		0.17 / 0.00		/		/					
	② 概算人件費	1,440		1,360									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		2,797		3,149									
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	教育文化会館使用料		種類	教育使用料		実績金額	45		決算附属資料	12		頁
		文化コミュニティセンター使用料			教育使用料			43			12		
		公衆電話設置等手数料(夜久野町教育文化会館)			雑入			3			46		

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	施設利用者数	人	3428 / 8000	1764 / 8000	2473 / 8000	/ 8000	8000
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	土地・建物借り上げ	式	1 / 1	1 / 1	1 / 1	/ 1	1
	単位あたりコスト		1681.0	1357.0	1789.0	/	
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 教育文化会館グラウンドは、年間を通じてグラウンドゴルフや野球、旧市内エリアの市民の方々からなど多くの利用がある。市民や社会ニーズを的確に捉えた事業であり必要である。快適に利用できるよう、建物周辺の草刈を実施している。 	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 現地の雑草等の育成状況を把握できるグラウンド利用団体に建物周辺の草刈業務を委託し、適切な時期に実施いただき、施設管理を行っている。 	<input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 土地は京都府から有償貸与(令和4年度より、1か年)、建物は京都府から教育財産使用許可申請を行い、許可を受けている(毎年度)。施設の適正な利活用が図れるよう、維持管理・施設修繕を進めた。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	○地域住民がグラウンドゴルフや野球等を行い、憩いの場となるよう適切な維持管理を実施している。		
改善策	○グラウンドの利用は多いが、文化コミュニティーセンターの利用が減少しているため状況分析し、今後の運営方法を検討する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	市民の利用が拡大しているグラウンドについて、引き続き維持管理に努める。教育文化会館、文化コミュニティーセンターについては、その利活用について関係課と調整し、確定させる。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	和久市公園管理事業					事業コード	650361					
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち			政策目標	1 公共施設の最適化						
	施策名	1 持続可能なまちづくりに向けた公共施設の再配置					施策コード	911				
事業担当	所属	60030000 教育委員会 生涯学習課			所属長	岸見 貴志						
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	01 社会教育総務費		会計	01 一般会計	決算附属資料	252	頁
計画期間	開始年度	平成23年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R5現在の状況	継続中		
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											
関連事業												

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	和久市公園の利用者の安全性・利便性を確保し、公共施設の最適化を図る。											
対象者	和久市公園の利用者			対象者数	75,471		単位あたりコスト	0.0				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()											
委託先・実施主体等	和久市町自治会(清掃)、都市緑化協会(遊具点検)											
事業概要 (箇条書き)	○和久市公園の管理運営 草刈業務 樹木剪定、伐採業務 遊具定期点検											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)		主な業務内容								
	委託料	107		公園整備等業務、遊具定期点検業務								

III 予算執行状況

区分		R3(評価前年度)		R4(評価年度)		R5(本年度)		R6(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	108		107		107		107				
	② 補正予算	0		0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0		0				
	次年度繰越	0		0		0		0				
小計(①～③)		108		107		107		107				
予算財源内訳	① 一般財源	107		106		106		106				
	② 国支出金	0		0		0		0				
	③ 府支出金	0		0		0		0				
	④ 地方債	0		0		0		0				
	⑤ その他特財	1		1		1		1				
決算情報	① 流充用額	△ 1		0								
	② 配当予算	107		107								
	③ 執行額	107		107								
	④ 執行率	100.0%		100.0%								
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.06 / 0.00		0.04 / 0.00		/		/				
	② 概算人件費	480		320								
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		587		427								
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	電柱占用料(和久市公園)		種類	教育使用料		実績金額	1		決算附属資料	12	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
				/	/	/	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	維持管理(清掃・草刈他)	回	4 / 4	4 / 4	4 / 4	4 / 4	4
	単位あたりコスト		31.0	26.8	26.8		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	<ul style="list-style-type: none"> 市が管理する公園であり、市民が憩いの場として利用し続けてもらえるよう、草刈業務や遊具点検を行い、市民が安心・安全に利用できるように維持管理を行った。 	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	<ul style="list-style-type: none"> 和久市自治会に草刈業務等を委託し、安価で行っている。コストだけでなく、現地の雑草等の生育状況を把握でき、適切な時期に草刈指示が実施可能である。 	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	<ul style="list-style-type: none"> 地元自治会の協力のもと、施設の維持管理を行った。 	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	○地域住民が憩える場として、公園の適正な維持管理を行うことができた。		
改善策	○地域の公園として地元で愛護してもらえるよう、地元自治会と連携して管理する必要がある。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合／組換 <input type="checkbox"/> 廃止／休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	利用者の安全性・利便性を確保するため、引き続き地元自治会と連携して維持管理を行う。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	桃映地域公民館等整備事業					事業コード	630148				
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	1 公共施設の最適化				
	施策名	1 持続可能なまちづくりに向けた公共施設の再配置				施策コード	911				
事業担当	所属	60040000 教育委員会 中央公民館				所属長	岸見 貴志				
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	02 公民館費	会計	01 一般会計	決算附属資料	256・258	頁
計画期間	開始年度	令和4年度	終了予定年度	令和6年度	関連計画名	福知山市公共施設等マネジメント基本計画			R5現在の状況	継続中	
根拠法令等	社会教育法 福知山市立公民館条例 福知山市立公民館条例施行規則										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	桃映地域公民館一般管理事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	桃映地域体育館内に事務所を設置する桃映地域公民館について、地域住民の生涯学習、人権、福祉、住民自治、避難所等の地域コミュニティの新たな拠点施設として新築整備に着手する。施設全体のバリアフリー化及びWi-Fi環境整備、SDGsの観点による照明のLED化や太陽光発電システム、避難所機能として蓄電システムやV2B機器等を整備した高機能な施設とする。										
対象者	桃映地域住民を中心とする地域公民館等利用可能対象者				対象者数	75,471		単位あたりコスト	0.9		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	小川建築設計、株式会社日建技術コンサルタント京都北営業所、三丹開発株式会社、株式会社芦田産業										
事業概要 (箇条書き)	・桃映地域公民館新築設計業務 ・大正文化センター解体工事に伴う設計業務 ・桃映地域公民館新築に伴う地質調査業務 ・大正文化センター解体工事 ・東堀集会所改修工事										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)			主な業務内容						
	委託料	3,864			大正文化センター解体工事に伴う設計業務、桃映地域公民館新築工事に伴う地質調査業務						
	工事請負費	60,023			東堀集会所改修工事、大正文化センター解体工事						
	負担金補助及び交付金	86			上水道加入金						

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)							
予算情報	① 当初予算	0	58,289	233,750	333,761						
	② 補正予算	0	0	0	0						
	③ 繰越予算	0	0	0	0						
	前年度繰越	0	0	0							
	次年度繰越	0	0								
小計(①～③)	0	58,289	233,750	333,761							
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	1,050	1,190						
	② 国支出金	0	0	0	0						
	③ 府支出金	0	0	0	0						
	④ 地方債	0	19,300	232,700	317,000						
	⑤ その他特財	0	38,989	0	15,571						
決算情報	① 流充用額	0	5,684								
	② 配当予算	0	63,973								
	③ 執行額	0	63,973								
	④ 執行率		100.0%								
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.00 / 0.00	0.30 / 0.15	/	/						
	② 概算人件費	0	2,775								
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	66,748									
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	桃映地域公民館等整備事業基金繰入(公共施設等総合管理基金)			種類	基金繰入金	実績金額	39,972	決算附属資料	42	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
桃映地域公民館新築完了		件	/	/	0 / 1	/ 1	1
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	工事、設計委託等の実績	件	/	/	5 / 5	/ 1	6
	単位あたりコスト				12794.6		
	単位あたりコスト		/	51 /	/	/	桃映地域公民館等整備事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	桃映地域体育館内に事務所を設置しており、社会教育施設としての機能は限定されているため、地域住民の生涯学習や地域福祉、住民自治、避難所等の地域コミュニティの新たな拠点施設となるよう、多機能施設として整備する必要がある。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	老朽化した大正文化センターを解体し、同じ場所に大正文化センター機能を持った複合施設としての公民館を建設することにより、新たな用地取得費用を抑えるとともに大正文化センターも新設することができコスト削減が図れた。生涯学習、人権、福祉、住民自治、避難所と5つの機能を統合するため、効率性は高い。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	現在は、桃映地域公民館内に事務所を設置しており、会議室等がなく、生涯学習活動が限定されているが、新たに整備することにより、活動の幅が広がり、地域の生涯学習の場として果たす役割は大きい。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	令和4年度は、大正文化センターの解体設計業務及び解体工事、新設する桃映地域公民館工事に伴う設計業務及び地質調査等を行った。解体に伴い、想定になかったアスベストが検出される等により工事期間の延長が行われることがあったが、概ね計画どおり執行できた。桃映地域公民館を地域住民の生涯学習や地域福祉、住民自治等地域コミュニティ及び情報の拠点として、バリアフリー化やWi-Fi環境を備えた様々な活動が可能となり良い施設に整備するため、利用者から意見聴取を行い関係課と連携をとりながら進めている。		
改善策	令和5年度から6年度にかけて、新築工事の施工となるが、引き続き、太陽光発電システム、蓄電池、V2B機器を備え、災害時にも信頼性の高い避難所とするとともに再生エネルギーを活用したSDGsを推進する高機能な施設とすべく、検討を重ねながら良い施設づくりを目指していく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	桃映地域体育館を地域住民の生涯学習、人権、福祉、住民自治、避難所等の地域コミュニティの新たな拠点施設として、バリアフリー化及びWi-Fi環境を備えた様々な活動が可能に施設に整備する。また、SDGsの観点による照明のLED化や太陽光発電システム、避難所機能として蓄電システムやV2B機器等を整備した高機能な施設とする。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	地域公民館等長寿命化(大規模改修)事業					事業コード	630186				
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	1 公共施設の最適化				
	施策名	1 持続可能なまちづくりに向けた公共施設の再配置				施策コード	911				
事業担当	所属	60040000 教育委員会 中央公民館				所属長	岸見 貴志				
会計情報	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	02 公民館費	会計	01 一般会計	決算附属資料	258	頁
計画期間	開始年度	令和3年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市公共施設等マネジメント基本計画			R5現在の状況	継続中	
根拠法令等	社会教育法 福知山市立公民館条例 福知山市立公民館条例施行規則										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	-										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	「福知山市公共施設マネジメント基本計画」に基づき、老朽化の進む地域公民館を、バリアフリーかつWi-Fi環境を備え、生涯学習に加えて、住民自治、福祉、文化・スポーツ、防災等、多機能で複合的な機能を有した新たな地域の拠点施設として計画的に大規模改修し整備する。										
対象者	地域公民館等利用可能対象者	対象者数	75,471		単位あたりコスト	0.9					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等	株式会社山崎設計、株式会社翔英、前田・福多共同企業体、井上株式会社、										
事業概要 (箇条書き)	・高圧受電設備の修繕工事(日新、川口、成和)(3線4) ・日新地域公民館・体育館の大規模改修工事 ・六人部地域公民館大規模改修に係る設計業務										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R4)	主な業務内容								
	役員費	147	六人部地域公民館・体育館大規模改修工事 確認申請手数料、日新地域公民館 電話回線移設料ほか								
	委託料	10,078	六人部地域公民館・体育館大規模改修工事に伴う設計業務、日新地域公民館物品移送業務								
	使用料及び賃借料	408	福知山市企業交流プラザ賃借料、日新地域公民館 会場借り上げ料								
	工事請負費	54,904	日新地域公民館・体育館大規模改修工事(前金払)、川口地域公民館ほか高圧気中開閉器改修工事								
負担金補助及び交付金	108	電気料金負担金(企業交流プラザ)									

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	21,820	147,599	596,402	564,459			
	② 補正予算	0	0	0	0			
	③ 繰越予算	△ 13,320	△ 73,920	87,240	0			
	前年度繰越	0	13,320	87,240				
	次年度繰越	△ 13,320	△ 87,240					
小計(①~③)	8,500	73,679	683,642	564,459				
予算財源内訳	① 一般財源	0	1,279	11,542	1,190			
	② 国支出金	0	0	0	0			
	③ 府支出金	0	0	0	0			
	④ 地方債	8,500	72,400	672,100	552,700			
	⑤ その他特財	0	0	0	10,569			
決算情報	① 流充用額	0	1,982					
	② 配当予算	8,500	75,661					
	③ 執行額	7,713	65,645					
	④ 執行率	90.7%	86.8%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.20 / 0.40	0.45 / 0.45	/	/			
	② 概算人件費	2,600	4,725					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	10,313	70,370						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	地域公民館等長寿命化(大規模改修)事業(緊急防災・減災)	種類	教育債	実績金額	60,300	56	頁
		地域公民館等長寿命化(大規模改修)事業(緊急防災・減災)(繰越明許費)		教育債		3,300	56	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	長寿命化大規模改修完了	件	/	0 / 4	0 / 4	/ 4	4
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	工事、設計委託等の実績	件	/	1 / 8	2 / 8	/ 8	8
	単位あたりコスト		/	7713.0	32822.5		
	単位あたりコスト		/	53			

地域公民館等長寿命化(大規模改修)事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	生涯学習活動、社会教育の拠点、広域避難所としても機能する地域公民館としては地域住民の安心安全を守るため必要不可欠な事業である。 また、「福知山市公共施設マネジメント基本計画」に基づき、老朽化の進む日新、六人部、川口、成和の各地域公民館について、地域住民の生涯学習や地域福祉、住民自治等地域コミュニティ及び情報の拠点施設として大規模改修を計画的に進める事業であり、必要性は高い。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	老朽化により不具合の生じている各地域公民館等の施設・設備・備品を原状復旧、改修、更新することで、全体的な観点からコスト削減に寄与すると同時に、公共施設マネジメントを推進することになる。 また、機能統合すること、再生エネルギーの活用等、機能面・設備面ともに効率性を追求している。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	令和4年度には、日新地域公民館・体育館の大規模改修工事(2か年の継続費)、六人部地域公民館の改修工事に係る設計業務を行った。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	地域公民館にあっては、築30年、40年と経過していることから老朽化も著しい。地域公民館や体育館等施設については、広域避難所にも位置づけられているため、有事の際に、地域住民をはじめとする市民の皆さんに安全安心かつ快適に利用していただく公共施設として、また機能統合をし、利便性の高い施設として、修繕及び改修は有効である。 令和4年度には、日新地域公民館・体育館の大規模改修工事(2か年の継続費)、六人部地域公民館の改修工事に係る設計業務を行った。 改修内容については、地域公民館運営協議会でも意見聴取を行った。		
改善策	今後、福知山市公共施設マネジメント基本計画に基づき、日新、六人部、川口、成和の各地域公民館を地域住民の生涯学習や地域福祉、住民自治等地域コミュニティ及び情報の拠点として、バリアフリー化やWi-Fi環境を備えた様々な活動が可能な施設に整備する。また、太陽光発電システム、蓄電池、V2B機器を備え、災害時にも信頼性の高い避難所とするとともに再生エネルギーを活用したSDGsを推進する高機能的施設とするため、大規模改修を計画的に進めていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針 <input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	福知山市公共施設マネジメント基本計画に基づき、日新、六人部、川口、成和の各地域公民館を地域住民の生涯学習や地域福祉、住民自治等地域コミュニティの新たな拠点施設として、バリアフリー化及びWi-Fi環境を備えた様々な活動が可能な施設に整備する。また、SDGsの観点による照明のLED化や太陽光発電システム、避難所機能として蓄電システムやV2B機器等を整備した高機能的施設とするため、大規模改修計画を進めていく。 令和6年度は、六人部地域公民館及び川口地域公民館の大規模改修工事、成和地域公民館の改修のための設計を行う。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和5年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	学校給食センター設備改修事業					事業コード	621530				
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち				政策目標	1 公共施設の最適化				
	施策名	1 持続可能なまちづくりに向けた公共施設の再配置				施策コード	911				
事業担当	所属	60060000 教育委員会 学校給食センター				所属長	村瀬 勝子				
会計情報	款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	03 学校給食費	会計	01 一般会計	決算附属資料	266	頁
計画期間	開始年度	令和3年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	-			R5現在の状況	継続中	
根拠法令等	-										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()										
関連事業	学校給食管理運営事業										

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	福知山市学校給食センター開始10年目を迎え、施設・設備や厨房機器の劣化が見られるため、適正な修繕や工事を計画的に行うことにより、市内全小中学校の児童生徒に安心安全な学校給食を提供する。										
対象者	市立小中学校の児童生徒及び教職員				対象者数	6,610		単位あたりコスト	3.7		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()										
委託先・実施主体等											
事業概要 (箇条書き)	長期維持管理計画に基づき、工事や修繕、購入等を行った。 ①蒸気ボイラー更新工事 ②給食配送用コンテナ補強修繕 ③プレハブ冷蔵庫・プレハブ冷凍庫、室内機・室外機更新購入										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目		支出実績(R4)		主な業務内容						
	需用費		1,526		プレハブ冷蔵庫(和え物下処理品用)室内機修繕、給食配送用コンテナ補強修繕						
	工事請負費		12,067		蒸気ボイラー更新工事						
	備品購入費		7,898		プレハブ冷蔵庫・プレハブ冷凍庫・室内機・室外機更新購入						

III 予算執行状況

区分	R3(評価前年度)	R4(評価年度)	R5(本年度)	R6(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	7,600	28,600	8,000	9,262					
	② 補正予算	0	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0						
	次年度繰越	0	0							
小計(①~③)	7,600	28,600	8,000	9,262						
予算財源内訳	① 一般財源	800	0	600	2,762					
	② 国支出金	0	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0	0					
	④ 地方債	6,800	24,100	0	6,500					
	⑤ その他特財	0	4,500	7,400	0					
決算情報	① 流充用額	△ 3,109	0							
	② 配当予算	4,491	28,600							
	③ 執行額	3,089	21,491							
	④ 執行率	68.8%	75.1%							
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤職員)	0.58 / 0.00	0.35 / 0.00	/	/					
	② 概算人件費	4,640	2,800							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	7,729	24,291								
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	学校給食センター設備改修事業基金繰入(公共施設等総合管理基金)	種類	基金繰入金	実績金額	2,111	42	決算附属資料	56	頁
		学校給食センター設備改修事業(公道・長寿命化)		教育債		18,500				

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	業務完了率	%	/	100	/ 100	100 / 100	/ 3
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R2	R3	R4	R5	最終目標
	修繕、工事、更新着手件数	件	/	3 / 3	3 / 3	/ 3	3
	単位あたりコスト		/	1029.7	7163.7		
	単位あたりコスト		/	55	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か 	令和3年度から1センターになり、安心安全な学校給食を市内全小中学校の児童生徒に提供するために、施設・設備の修繕や工事、購入等は必要である。学校給食の調理に支障が出ないように配慮して実施した。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか 	蒸気ボイラー更新工事、給食配送用コンテナ補強修繕、プレハブ冷蔵庫・プレハブ冷凍庫、室内機・室外機更新購入は、すべて指名競争入札を行い、支出の抑制に努めた。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか 	設備改修事業を実施することにより、老朽化した施設や設備を維持し長寿命化を図ることができる。蒸気ボイラー更新工事、給食配送用コンテナ補強修繕、プレハブ冷蔵庫・プレハブ冷凍庫、室内機・室外機更新購入を実施したことにより、給食の調理・配送業務は支障なく行われており有効な事業であった。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	施設・設備の老朽化が見られ、緊急度の高いものから優先して取り組んだ。給食センター開設から10年が経過し、施設、設備の多くが更新時期を迎えており、安心安全な学校給食を安定的に児童生徒に提供していくために都度、長期維持管理計画を見直し、できるだけ前倒して必要な工事や更新に対応する。		
改善策	長期維持管理計画に基づき、予防保全的に設備や厨房機器の修繕や工事を行っているが、多くの設備や厨房機器等が不調を来たしており、安心安全な学校給食を安定的に児童生徒に提供していくために都度、長期維持管理計画を見直し、できるだけ前倒して必要な工事や更新に対応する。令和5年度は、①給食配送用コンテナ補強修繕、②蒸気配管修繕、③洗浄機改修、④冷温水機修繕を予定している。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	経年により学校給食センターの施設・設備は老朽化しており、年々修繕箇所や更新機器が増加しているが、安心安全な学校給食を提供するために、引き続き事業の推進に努める。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--